

總發辨六六六号

昭和十三年六月二十一日

臨時對支防疫事業部

代表者 宮川米次

外務大臣 守垣一成 殿

昭和十三年度國庫助成金下附ノ申請

對支防疫事業經營ノ為昭和十三年度ニ於テ別紙計
算書ノ通金貳百八萬七千參百拾壹圓也ノ助成金御下
附被下度防疫事業部ニ於テル昭和十三年度收支豫
算書相添及申請候也

H-0036

0379

合 計	防 疫 部		名 稱	本年 度申 請額	摘 要	昭 和十 三年 度國 庫助 成金 計算 書	一 金貳 百八 萬七 千參 百拾 壹圓 也
	防 疫事 業費	本 部事 務費					
	二〇五八五九六	二八七一五					
二〇八七三一一							

H-0036

0380

昭和拾参年度收支豫算書

H-0036

0381

支 出 總 計	雜 費	借 家 備 船 車 料	通 信 運 搬 費	圖 書 印 刷 費	消 耗 品 費	被 服 費	備 品 費	醫 療 器 械 費	藥 劑 材 料 費	傷 病 手 當	支 度 料	船 車 料	食 料	日 當	手 當	特 別 手 當	加 俸
二〇、八七三、一一一	三、八二〇、〇	四、一〇〇、〇	六、九五〇、〇	四、七五〇、〇	三〇、二一〇、〇	七〇、六八八、〇	一、六二一、八九	一、六六三、九七	一、一七一、九九	六、一五九、〇	二、三八四、〇	五、二八六、七	二、一八四、二四	二、二五二、六四	五、五〇〇、〇	五〇、六四〇、〇	三、一五五、四〇

H-0036

0383

區分	金額	備考
事務費	二、八七一五	主事三人分 月一七〇四、十月分三、四〇〇四、事務費三人分月八、四、十月分三、四〇〇四、 庶務二人分 月五〇四、十月分一、〇〇〇四、廣興二月分一、三六〇四、 採用者名簿事務打合せ祝儀旅費等、
俸給諸給	八、一六〇	理事及主事各一名一月ノ予注ニテ中北支ニ出奉四回分戻積 一回分一六、〇〇四、(理事一、〇〇〇四、主事六、〇〇四)
内國旅費	五、〇〇〇	給仕二名便給給料及廣五並臨時使用人庸人料等
外國旅費	六、四〇〇	内外要人ニ対スル接待交際費 月一〇〇四、割一〇ヶ月分
諸庸費	五〇〇	事務用椅子 一〇、九四、九〇四 應接用調度品 一、五五〇四、金櫃一個一四、五〇四、修理及補修費 四、六〇四、 書籍料 五、一三〇四、六、〇〇四、事務用掃帚 二〇、八八四、一六〇四、 月五〇四、割
接待費	一、〇〇〇	事務進行ニ要スル圖書及印刷費 月額一三〇四、
備品費	二、五〇〇	事務進行ニ要スル通信及運搬ノ費用 月額一五〇四、
消耗品費	五〇〇	煖房用石灰瓦斯木炭等ノ費用
圖書印刷費	一、三〇〇	
通信運搬費	一、五〇〇	
燃料費	二〇〇	
電氣水道費	二〇〇	月二〇四ノ予注
修理費	九〇五	建物工什物等ノ補修費
雜費	五五〇	諸金會費 月三五四、三五〇四、 其 他 月二〇四、二〇〇四

H-0036

0384

北支防疫部入件費見積

班名	員数	俸給	加俸	特別手当	日當	食料	支度料	赴任旅費	計
北支防疫部本部	六八	九六六二五	五九二九〇	九六〇〇	四〇五八四	三五六二二	四一三〇	九三六〇	三五四四一
第一移動防疫班	二九	三三九三六	二〇三九〇	三三〇〇	一四二四四	一五〇八八	一五六〇	三三〇〇	九一六九六
第二移動防疫班	二八	三三〇八六	一九九一〇	三三〇〇	一四一三六	一四九九三	一四九五	三三〇〇	九〇〇一〇
濟南防疫班	二一	二二八二二	一四五〇〇	二二〇〇	一〇三三六	一〇四八八	一二二五	二五一〇	六四九六一
石家荘防疫班	二二	二二八二二	一四五〇〇	二二〇〇	一〇三三六	一〇四八八	一二二五	二五一〇	六四九六一
太原防疫班	一九	一八八七五	一六六四〇	一六〇〇	八三三〇	九三三二	九三五	二〇二〇	五二二九四
青島防疫班	五六	六四八七五	三九三一〇	六三四〇	二〇四三四	二八五七六	三〇〇〇	六八〇〇	一七二三四
合計	二四三	二九七三三	一七九五四〇	二八八六〇	一三六九〇	一三三三六	一三三三〇	三〇一〇	八〇〇二五九

各項目内訳別紙一ヶ月分見積表、通り

防疫部入件費見積

部名	員数	俸給	加俸	特別手当	日當	食料	支度料	赴任旅費	計
北支防疫部	二四三	二九七三三	一七九五四〇	二八八六〇	一三六九〇	一三三三六	一三三三〇	三〇一〇	八〇〇二五九
中支防疫部	一八九	二二六二五	一三三〇〇	二二〇〇	九六三四	一〇四〇〇	一〇四〇〇	一〇四〇〇	五八九七四
合計	四三二	五二三五八	三一三五四〇	三一〇六〇	二三三二四	二三七三六	二三七三〇	四〇五〇	一三九〇三三

中支防疫部人件費見積

備考	班名	各項目ノ内訳別概一ヶ月分見積表ノ通り								
		員數	俸給	加俸	特別手当	日當	食料	支度料	赴任旅費	計
合計		一八九	四六五〇〇	二八五八〇	五三四〇	九八三四四	九四〇八八	一〇四六〇	一六七三〇	五八九五七
	南京特殊診療班	四五	四六五〇〇	二八五八〇	五三四〇	三一九二	二二〇四〇	三三九五	三八一五	一三〇七六
	上海特殊診療班	五六	五四八七五	三三三二〇	六四〇〇	三六二一六	二七三三〇	二九〇〇	四七二五	一五二九六
	南京防疫班	二四	二九〇〇〇	一七七一〇	二九〇〇	一一三三二	一一八五六	一三三二	二一三五	七三三二
	上海防疫班	三八	四五三七五	二七七九〇	五二〇〇	二〇〇六四	一九一五三	二一三五	三三九五	一三三六一
	中支防疫部本部	二六	四〇三七五	二四一四〇	三三三〇	一五九六〇	一三六八〇	一六一五	二六一〇	一〇〇九〇

H-0036

0387

職名	員数	俸給	雑費	特別手当	日當	食料	衣履料	滞在旅費
技術助手	4	311,000	214,000	44,000	6,000	6,000	110,000	24,000
看護長	1	60,000	24,000	11,000	2,000	1,000	24,000	14,000
看護婦	5	110,000	14,000	2,000	2,000	2,000	114,000	6,000
庸人	13	211,000	214,000	21,000	6,000	1,000	24,000	24,000
明及計	2	211,000	214,000	21,000	6,000	1,000	24,000	24,000
賞與	計	332,340						

第二移動防疫班 (北京)

班長	1	311,000	214,000	44,000	6,000	6,000	110,000	24,000
職員	4	110,000	214,000	21,000	6,000	1,000	24,000	24,000
賞與	計	140,000						

九

職名	員数	俸給	雑費	特別手当	日當	食料	衣履料	滞在旅費
班長	1	411,000	214,000	44,000	6,000	6,000	110,000	24,000
技術助手	4	311,000	214,000	44,000	6,000	6,000	110,000	24,000
看護婦	4	110,000	14,000	2,000	2,000	2,000	114,000	6,000
庸人	13	211,000	214,000	21,000	6,000	1,000	24,000	24,000
明及計	2	211,000	214,000	21,000	6,000	1,000	24,000	24,000
賞與	計	332,340						

濟南防疫班

班長	1	311,000	214,000	44,000	6,000	6,000	110,000	24,000
職員	2	110,000	214,000	21,000	6,000	1,000	24,000	24,000

石塚莊防疫班		職名		人員數		俸給		加俸		特別手當		日當		食料		支度料		赴任旅費	
賞與	計	調劑員	一	八千〇〇〇	六千〇〇〇			二〇〇〇	一萬〇〇〇			二〇〇〇	一萬〇〇〇			六千〇〇〇		一萬〇〇〇	
		事務員	二	一八〇〇〇	一四四〇〇			四〇〇〇	一萬〇〇〇			三〇〇〇	一萬〇〇〇			一萬〇〇〇		三〇〇〇〇	
		技術助手	三	二四〇〇〇	一八二〇〇			四〇〇〇	一萬〇〇〇			四〇〇〇	一萬〇〇〇			一萬〇〇〇		三〇〇〇〇	
		看護婦	三	二二〇〇〇	一六六〇〇			三〇〇〇	一萬〇〇〇			三〇〇〇	一萬〇〇〇			一萬〇〇〇		三〇〇〇〇	
		庸人	九	五四〇〇〇	四一三〇〇			九〇〇〇	一萬〇〇〇			三〇〇〇	一萬〇〇〇			三〇〇〇		三〇〇〇〇	
		明及計	二	一八〇〇〇	一四四〇〇			三〇〇〇	一萬〇〇〇			三〇〇〇	一萬〇〇〇			三〇〇〇		三〇〇〇〇	
		賞與	計		四七〇〇〇	三六〇〇〇			一〇〇〇〇	一〇〇〇〇			一〇〇〇〇	一〇〇〇〇			一〇〇〇〇		三〇〇〇〇
計			二二八〇〇〇	一七三〇〇〇			一〇〇〇〇	一〇〇〇〇			一〇〇〇〇	一〇〇〇〇			一〇〇〇〇		一〇〇〇〇		三〇〇〇〇
石塚莊防疫班		班長	一	三〇〇〇〇	二一〇〇〇			六〇〇〇	四〇〇〇			二〇〇〇	二〇〇〇			一〇〇〇〇		二〇〇〇〇	
計			二二八〇〇〇	一七三〇〇〇			一〇〇〇〇	一〇〇〇〇			一〇〇〇〇	一〇〇〇〇			一〇〇〇〇		一〇〇〇〇		三〇〇〇〇
大原防疫班		班長	一	三〇〇〇〇	二一〇〇〇			六〇〇〇	四〇〇〇			二〇〇〇	二〇〇〇			一〇〇〇〇		二〇〇〇〇	
計			二二八〇〇〇	一七三〇〇〇			一〇〇〇〇	一〇〇〇〇			一〇〇〇〇	一〇〇〇〇			一〇〇〇〇		一〇〇〇〇		三〇〇〇〇

H-0036

0390

職名	員數	俸給	加俸	特別手当	日當	食料	支度料	赴任旅費
事務員	一	九,000	七,000		二,000	一,000	六,000	一,000
雇員	一	八,000	六,000		一,000	一,000	六,000	一,000
技術助手	三	二,000	一,六〇〇	八〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	三,〇〇〇
看護婦	三	一,〇〇〇	七〇〇	三〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	三,〇〇〇
雇入	九	五,000	三,000	二,000	一,000	一,000	三,000	二,000
明及計	二	五,000	三,000	二,000	一,000	一,000	三,000	二,000
一〇月計	一	五,000	三,000	二,000	一,000	一,000	三,000	二,000
計	一	一〇,000	七,000		二,000	一,000	六,000	一,000
班長	一	三,000	二,000	一,000	一,000	一,000	一,000	二,000
職員	八	一,000	七,000	三,000	二,000	一,000	六,000	一,000
青島防疫班								二,000
計								二,000

H-0036

0391

賞
與

計

一、九、五、〇、〇
六、四、八、五、〇、〇

備
考

- 一、旅費ノ内會ニ於テ宿舍ヲ給スルモノトシ宿泊料宿舍料ハ之ヲ算定セズ
- 二、加俸支給ニ當リ會長任命者ニハ俸給七割額ヲ部長(班長)任命者ニハ八割額ヲ支給ス
- 三、特別手當ハ傳染病豫防隊ニ從事スル者ノ手當トシ俸給ニ割額ヲ算出ス
- 四、北支方面派遣員ニ對スル赴任旅費ハ東京ヲ基地トシ神戶ヨリ塘沽間汽船天津ヲ經テ北京迄トシテ算出ス

H-0036

0392

職名	員数	俸給	加俸	特別手当	日当	食料	支度料	滞在旅費
支部長	一	三三,000	二四,000	二,000	四,000	二,500	一,000	二一,000
醫員	二	二四,000	二〇,000	八,000	六,000	二,000	一,000	二六,000
調剤員	二	一七,000	一三,000	六,000	四,000	一,500	一,000	二二,000
事務員	一	九,000	七,000	四,000	二,000	一,000	六,000	一四,000
技術員	三	二二,000	一八,000	四,000	六,000	一,500	一,000	二四,000
技術助手	五	四,000	三,000	八,000	二,000	一,000	三,000	一〇,000
通譯	一	六,000	五,000	八,000	二,000	一,000	六,000	一四,000
計		一〇三,000	八〇,000	二六,000	二六,000	一〇,000	一〇,000	一三〇,000

南京防疫部防疫班

職名	員数	俸給	加俸	特別手当	日当	食料	支度料	滞在旅費
支部長	一	三三,000	二四,000	二,000	四,000	二,500	一,000	二一,000
醫員	二	二四,000	二〇,000	八,000	六,000	二,000	一,000	二六,000
調剤員	二	一七,000	一三,000	六,000	四,000	一,500	一,000	二二,000
事務員	一	九,000	七,000	四,000	二,000	一,000	六,000	一四,000
技術員	三	二二,000	一八,000	四,000	六,000	一,500	一,000	二四,000
技術助手	五	四,000	三,000	八,000	二,000	一,000	三,000	一〇,000
通譯	一	六,000	五,000	八,000	二,000	一,000	六,000	一四,000
計		一〇三,000	八〇,000	二六,000	二六,000	一〇,000	一〇,000	一三〇,000

上海防疫部診療班

職名	員数	俸給	加俸	特別手当	日当	食料	支度料	滞在旅費
支部長	一	三三,000	二四,000	二,000	四,000	二,500	一,000	二一,000
醫員	五	二四,000	二〇,000	八,000	六,000	二,000	一,000	二六,000
調剤員	二	一七,000	一三,000	六,000	四,000	一,500	一,000	二二,000
事務員	二	九,000	七,000	四,000	二,000	一,000	六,000	一四,000
技術員	二	二二,000	一八,000	四,000	六,000	一,500	一,000	二四,000
計		一〇五,000	八二,000	二六,000	二六,000	一〇,000	一〇,000	一三〇,000

H-0036

0394

技術助手	1	10000	10000	10000		1500	1500	50000	10000
通譯	1	6000	6000	6000		300	150	6000	11000
看護婦長	1	6000	6000	11000		300	150	6000	11000
看護婦	1	2000	6000	15000		300	150	6000	11000
備人	1	2000	6000	15000		300	150	6000	11000
明及計	5	6000	30000	40000		900	900	30000	30000
1004月計		40000	30000	40000		1000	1000	30000	30000
費		100000	100000	100000					
計		500000	500000	500000					

南京防疫部診療班

次長	1	30000	21000	6000		400	200	10000	21000
職員	4	10000	40000	10000		1000	3000	30000	40000
計		40000	61000	16000		1400	5000	40000	61000

職名	員數	俸給	加給	特別手当	日当	食料	支度料	赴任旅費
調劑員	2	10000	13000		600	300	13000	21000
事務員	1	7000	2100		300	150	7000	11000
技師	2	10000	10000	3000	600	300	13000	21000
技師助手	1	6000	6000	1000	300	150	6000	10000
通譯	1	6000	6000		300	150	6000	11000
看護婦長	1	6000	6000	1100	300	150	6000	11000
看護婦	1	2000	6000	1000	300	150	6000	11000
備人	3	2000	6000		300	150	6000	11000
明及計	5	6000	30000	4000	900	900	30000	30000
1004月計		40000	30000	4000	1000	1000	30000	30000
費		100000	100000	10000				
計		500000	500000	100000				

H-0036

0395

藥劑材料費外各班所要見積額 (中文ノ部)				
費目	所要班	上海 防疫班部	南京 防疫班部	計
藥劑材料費		三六〇〇〇	二四〇〇〇	六〇〇〇〇
醫療器械費		四〇〇三〇	三二六九二	八二七三〇
備品費		三〇〇〇〇	二〇〇〇〇	五〇〇〇〇
消耗品費		六三三〇	四九二〇	一一三〇〇
圖書印刷費		一三三八〇	九二〇	一三三〇〇
通信運搬費		二〇四〇	一三六〇	三四〇〇
船家備船車料		一二〇〇	八〇〇	二〇〇〇
雜費		八二八〇	五五二〇	一三八〇〇
計		一三五三一一	九〇二一一	二二五五三〇

12

藥劑材料費外各班所要見積額 (北支ノ部)							
費目	所要班	北京 各部	青島班	濟南班	石家莊班	太原班	計
藥劑材料費		二一五九二	一三〇九五	七四九七	五二九八	五二九八	五二一九一〇
醫療器械費		三三三六五	二一四六二	一三二五〇	八五三七	八五三七	八五三六九〇
備品費		五二七五五	二〇四三五	一六八二五	一三二八九	一三二八九	一一一八九〇〇
消耗品費		一〇〇〇〇	二〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇〇
圖書印刷費		二〇〇〇〇	一五〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一四五〇〇〇
通信運搬費		二二〇〇〇	四四〇〇〇	三〇〇〇〇	三〇〇〇〇	三〇〇〇〇	三三三〇〇〇
船家備船車料		一六〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	二一〇〇〇〇
雜費		一六六〇〇	一六〇〇〇	一五〇〇〇	一五〇〇〇	一五〇〇〇	二一三〇〇〇
計		一三三〇三一	六六二一四	四〇九〇〇	二八二〇四	二八二〇四	二九九九六〇〇

14

消耗品費明細表(中支ノ部)			
品別	所要班	上海	
		本防班部	支防班部
一般用消耗品		四〇五.〇	二三〇.〇
燃料品等		二四五.〇	二〇五.〇
油類等		一八〇.〇	五七〇.〇
計		七三八.〇	四九二.〇
			計
			六三五.〇

消耗品費明細表(北支ノ部)			
品別	所要班	北京	
		本防班部	支防班部
一般用消耗品		二五〇.〇	一三〇.〇
燃料品等		二五〇.〇	一〇〇.〇
油類等		一四〇.〇	五〇〇.〇
寫真技術用品		三六一.〇	
計		一〇〇七.〇	二八〇.〇
			青島班
			一〇〇.〇
			濟南班
			一〇〇.〇
			石家莊班
			一〇〇.〇
			太原班
			一〇〇.〇
			計
			六八〇.〇

昭和十三年度收支豫算書

財團法人
同仁會

H-0036

0400

昭和十三年度財團法人同仁會收支豫算書

收入金 二一六、一八八圓

項目	金額	摘要
經常部		
國庫補助金	二一五、八七九	
醫院收入	一、三三三	
臨時部		
國庫補助金	一、七四一	
寄附金	一〇〇	
預金利息	一〇〇〇	
雑收入	一〇〇	
合計	二一六、一八八	
事業收益金	三六三〇	
救護事業收入	二五三八八	
合計	一、七七六、九九七	
合計	二、一六一、八八八	

H-0036

0401

支出金 二一六、八八圓		項目	金額	摘要
諸庸費	一五〇〇	經常部		
會議費	一〇〇〇	北京醫院	二〇〇、一九一	
接待費	二五〇〇	青島醫院	六五〇、〇〇〇	
備品費	五〇〇〇	濟南醫院	七四〇、〇〇〇	
消耗品費	二〇〇〇	經常部計	三三九、一九一	
圖書印刷費	二〇〇〇	臨時部		
通倉運搬費	三二〇〇	事務費	六二〇、八一	
燃料費	七五〇	庫給諸費	二九二、五〇	
電氣水道費	五〇〇	內國旅費	五〇〇	
課税保険料	四〇〇	外國旅費	一三六、〇〇	
修繕費	一〇〇〇			
雜費	一八八一			

H-0036

0402

救護事業費内訳

区分	漢口班	青島班	濟南班	第一班	第二班	第三班	第四班	計
救護事業費	15,156.00	15,926.00	15,232.00	15,318.00	15,318.00	15,318.00	15,318.00	121,686.00
俸給	11,000.00	11,000.00	11,000.00	11,000.00	11,000.00	11,000.00	11,000.00	88,000.00
賞金	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	8,000.00
加給	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	8,000.00
口糧	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	8,000.00
食料	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	8,000.00
鉄道及汽船賃	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	8,000.00
支度料	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	8,000.00
薬剤材料費	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	8,000.00
医薬器械費	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	8,000.00
備品費	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	8,000.00
被服費	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	8,000.00
洗滌費	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	8,000.00
圖書印刷費	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	8,000.00
通信運搬費	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	8,000.00
雑家料	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	8,000.00
維持費	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	8,000.00
傷病手当	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	8,000.00
合計	15,156.00	15,926.00	15,232.00	15,318.00	15,318.00	15,318.00	15,318.00	121,686.00

通信運搬費	4,100.00
雑家料	4,100.00
維持費	1,390.00
傷病手当	2,000.00
臨時部計	17,766.99
合計	21,657.00

昭和十三年度收支豫算

經常部収入金 三三九一九一圓		經常部支出金 三三九一九一圓	
項目	金額	項目	金額
北京醫院	二〇〇、一九一	北京醫院	二〇〇、一九一
國庫補助金	七六八七九	俸給諸給	七八二六五
醫院收入	一、二三、三一、二	治療費	二、三一、三四
青島醫院	六五〇〇〇	需用費	七、七六〇
國庫補助金	六五〇〇〇	修繕費	九、一五〇
濟南醫院	七四〇〇〇	積立金	七〇〇〇
國庫補助金	七四〇〇〇	豫備費	七〇〇
計	三三九一九一	金銀交換勘定	七四、八二
		青島醫院	六五〇〇〇
		俸給	六五〇〇〇
			六五〇〇〇

項目	金額	摘要
北京醫院	二〇〇、一九一	北京醫院ハ大体既定方針ニ基キ經營シ得ル見込
國庫補助金	七六八七九	内訳ハ昭和十三年度北京醫院收支豫算書ニ依ル
醫院收入	一、二三、三一、二	
青島醫院	六五〇〇〇	
國庫補助金	六五〇〇〇	職員以下本俸充當金
濟南醫院	七四〇〇〇	
國庫補助金	七四〇〇〇	職員以下本俸充當金
計	三三九一九一	

項目	金額	摘要
北京醫院	二〇〇、一九一	内訳ハ昭和十三年度北京醫院收入予算書ニ依ル
俸給諸給	七八二六五	
治療費	二、三一、三四	
需用費	七、七六〇	
修繕費	九、一五〇	
積立金	七〇〇〇	
豫備費	七〇〇	
金銀交換勘定	七四、八二	
青島醫院	六五〇〇〇	
俸給	六五〇〇〇	職員(一ヶ月分五四)六円六六錢(一ヶ月分)
	六五〇〇〇	

濟南醫院	七四〇〇〇	職員一ヶ月分六六六円六六銭一ニヶ月分
庫給	七四〇〇〇	
合計	三三九一九一	

臨時部収入金一七七六九九七圓也

項目	金額	摘要
補助及寄附金	一七、七、四一〇九	本部並診療班補助
寄附金	一〇〇	旧募金未納額中ヨリ本年度実収見込
預金利子	一〇〇〇	各種預金ヨリ生スル年度内利子見込
雑収入	一〇〇	不用品及藥品売却代
事業収入金	三六、三〇〇	
雑誌収入	四〇八〇	雑誌同仁及一仁医等並各種單行書籍売上代

譯書收入	六、四〇〇	既刊及本年度内刊行医書ノ売上代
連絡奨励収入	八〇	留日医学生及出身者名簿其ノ他ニ於ケル掲載廣告料金
東京醫院收入	二、三、五〇〇	診療收入及其ノ他医院ヨリ生スル收入
救護事業収入	二、五、三八八	有料診療ヲ有效ナリト認メラル、兼アルニ付本年六月以降治療料並収入ノ予定
漢口班	三、〇〇〇	七月一〇〇円、八月一〇〇円、九月以降毎月四〇〇円
青島班	四、四、四四	六月二〇〇円、七月二四四円、八月以降毎月五〇〇円
濟南班	四、四、四四	六月二〇〇円、七月二四四円、八月以降毎月五〇〇円
濟一診療班	三、五〇〇	六月一五〇円、七月一五〇円、八月以降毎月四〇〇円
濟二診療班	三、五〇〇	同 右
濟三診療班	三、五〇〇	同 右
濟四診療班	三、〇〇〇	七月一〇〇円、八月一〇〇円、九月以降毎月四〇〇円

H-0036

0406

臨時部支出金一七七六九七圓也

項目	金額	摘要
事務費	六二〇八一	事務費
俸給諸費	二九二五〇	事務部長一、經理部長一、主事二、嘱託及雇員ノ俸給費與等 庶務部長一、主事二、雇員増員
内國旅費	五〇〇	一般事務ノ為本邦各地ニ出張ヲ要スル場合ノ職員旅費
外國旅費	一三、六〇〇	役員一名、主事一名、約一ヶ月支那出張(一、六〇〇円)四回分及左支 醫院及診療班業務並ニ會計經理、指導監督検査視察等ノ 為支那各地ニ出張ヲ要スル場合ノ職員旅費
諸備費	一、五〇〇	給仕小使等ノ給料費與並ニ臨時人夫等ノ使用賃及自動車ノ備費等
會議費	一、〇〇〇	役員會、理事會、評議員會其他會務ノ為會合ニ要スル費用
接待費	二、五〇〇	内外要人ニ對スル諸接待及交際上ノ費用
備品費	二、〇〇〇	備品ノ新調並ニ修理等ノ費用
消耗品	二、〇〇〇	事務進行ニ要スル消耗品ノ費用
圖書印刷費	二、〇〇〇	事務進行ニ要スル圖書及印刷物ノ費用
通信運搬費	三、二〇〇	事務進行ニ要スル通信及運搬ノ費用
燃料費	七五〇	煖房用石炭瓦斯及湯沸用水炭等ノ費用
電氣水道費	五〇〇	事務所ニ於ケル電力及水道費
課税除除料	四〇〇	地租及附加税其ノ他保険料等
修繕費	一、〇〇〇	建物ニ作物等ノ補修手入ノ諸費用
雜費	一、八八一	前各目ニ屬セサル各種的諸費用
事業費	六八〇〇〇	
雜誌刊行費	一、二〇八〇	同仁及同仁医會ノ刊行ニ對スル補助金
譯書刊行費	二、二二四〇	耳科、病理科(下)内科、外科各論(中)刊行ニ要スル費用
講習及医學會費	二、〇〇〇	在支醫院所在地ニ開催スル醫師講習會及医學會ニ對スル補助金
連絡奨励費	二、二八〇	滿洲支那医會ト本邦医會トノ連絡奨励及留日医學生ノ 奨励後援ニ對スル補助金

支度料	四四五	尤男子定七名、医員八〇名、三〇名、二四〇名、事務員六五名、婦人四〇名、名、看護婦五〇名、一〇〇名、
薬剂材料費	一〇、八〇〇	前掲ノ通
医療器械費	六〇〇〇	一部新規購入及補足費トス
備品費	二五〇〇	一般用備品購入及補修費
被服費	二、三九一	夏冬服給與ノ必要アリ(著三〇名、分一〇〇名、光復子定七名、男一六、二四五、女五名、八一七、五〇名、女一六、二四、五名、三三、四三〇名、)
消耗品	九六〇	前掲ト同
図書及印刷費	二四〇	前掲ト同
通信運搬費	六〇〇	前掲ト同
借家車料	六〇〇	前掲ト同
雑費	一、二〇〇	前掲ト同
接待費	八〇〇	前掲ト同
第一診療班	二一、六二〇	本年三月編成完了南京ニ於テ診療ニ従事ス
俸給	五三、八九二	
賞與	一三、四七三	
加俸	三九、二九一	
日賞	三一、二〇七	
食料	二七、五五七	
鉄道及汽船賃	二、〇〇〇	班長及職員要務出張旅費トス
薬剂材料費	一〇、八〇〇	前掲ニ同シ
医療器械費	一五、〇〇〇	新規購入及補足費トス
備品費	九四〇〇	自動車(台)一般用備品購入及補修費トス
消耗品費	九六〇	
図書印刷費	二四〇	
通信運搬費	六〇〇	前掲ト同

支度料	鐵道及汽船債	食料	日當	加俸	賞與	第四診療班	通信運搬費	備給車料	雜費	接待費	賞與	加俸	日當	食料	鐵道及汽船債	支度料	藥劑材料費	醫療機械費	備給品費	被服費	消耗品費	圖書印刷費
二五八〇	七九四〇	二二九五二	二五九九二	三二七四三	一一二二七	二三〇〇九五	六〇〇	六〇〇	三六〇〇	三〇〇〇	一三四七五	三九二九一	三一三〇七	二七五五七	七九四〇	二五八〇	一〇、八〇〇	四五〇〇〇	一三四七五	六七六六	九六〇	二四〇
<p>本年六月補減了太派ニ於テ診療ニ從事ノ予定 内訳ニ診療班ニ同ジ(但シ十一月分トス)</p>																						

H-0036

0412

藥劑材料費	九、〇〇〇	
醫療器械費	四五、〇〇〇	
備品費	一三、四七五	自動車二台購入。〇、九七五円ヲ要ス。他、一般用備品費トシ、
被服費	六七、七六	
消耗品費	八、〇〇〇	
圖書印刷費	二、〇〇〇	
通信運搬費	五、〇〇〇	
脂油車料	五、〇〇〇	
雑費	三、〇〇〇	
接待費	二、五〇〇	
傷病手当	二〇、〇〇〇	

1B

事務費内訳

科目	金額	職	数	一人平均額	月	年
俸給給料	二三四、〇〇〇	専務理事	一	三〇〇、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇	三六〇、〇〇〇
賞	五八、五〇〇	経理部長	一	二四〇、〇〇〇	二四〇、〇〇〇	二八八、〇〇〇
計	二九二、五〇〇	庶務部長	一	二〇〇、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇	二四〇、〇〇〇
		主任	四	一四〇、〇〇〇	五六〇、〇〇〇	六七二、〇〇〇
		嘱託	四	一〇〇、〇〇〇	四〇〇、〇〇〇	四八〇、〇〇〇
		職員	五	五〇、〇〇〇	二五〇、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇

1A

H-0036

0413

漢口診療班費内譯

科目金額		内		訳		
俸給給料	賞與	職名	数	一人平均額	月額	年額
四六一五六	一二〇三九	班長	一	三五〇	三五〇	四二〇〇
		医員	八	二四〇	一九二〇	二三〇〇〇
		歯科医	一	一三〇	一三〇	一五六〇
		薬局長	一	一三〇	一三〇	一五六〇
		薬剤員	一	八六	八六	一〇三二
		事務長	一	一七五	一七五	二一〇〇
		事務員	四	七八	三一二	三七四四
		技術員	一	七五	七五	九〇〇
		婦長	一	六三	六三	七五六
		看護婦	一七	三八〇	六四六〇	七七五三
		備人	二	六三〇	一二六〇	一五一二
		計	三八			四六一五六
加俸		班長	一	二四五	二四五	二九四〇
		医員	八	一六八	一三四四	一六一二八
		歯科医	一	九一	九一	一〇九二
		薬局長	一	九一	九一	一〇九二
		薬剤員	一	六八八	六八八	八二五六
		事務長	一	一二二五	一二二五	一四七〇
		事務員	四	六二四	二四九六	二九九五
		技術員	一	六〇〇	六〇〇	七二〇〇
		婦長	一	五〇四	五〇四	六〇八〇
		計	三八			二九四〇
		合計				七七五三

H-0036

0414

食料										日當														
二五、一八五										二、六四七〇														
婦長	技術員	事務員	事務長	調劑員	兼司長	齒科医	医員	班長	計	備入	看護婦	婦長	技術員	事務員	事務長	調劑員	兼司長	齒科医	医員	班長	計	備入	看護婦	
一	一	四	一	一	一	一	八	一	三	二	一七	一	一	四	一	一	一	一	八	一	三	二	一七	
一五〇	一五〇	一五〇	二五〇	一五〇	二五〇	二五〇	二五〇	二五〇		一〇〇	一五〇	一五〇	二〇〇	二〇〇	三〇〇	二〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	四〇〇		五〇〇	三〇〇	
一五〇	一五〇	六〇〇	三〇〇	一五〇	二五〇	二五〇	二〇〇	二五〇		二〇〇	二五〇	一五〇	六〇〇	八〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	二四〇〇	四〇〇		一〇〇	五〇〇	
五四七五〇	五四七五〇	二一九〇〇	九一二五〇	五四七五〇	九一二五〇	九一二五〇	七三〇〇〇	九一二五〇	二、八四七〇	七三〇〇〇	九、三〇七五〇	五四七五〇	七三〇〇〇	二、九二〇〇	一〇、九五〇〇	一〇、九五〇〇	一〇、九五〇〇	一〇、九五〇〇	一〇、九五〇〇	一、四六〇〇	一、四六〇〇	三、五二、六八〇	一、三〇、九六〇	六、二〇、一六〇

H-0036

0415

加												俸給給料		科		第一診療班費内譯		食日加		俸給給料		科		濟南診療班費内譯			
俸												賞典		金額		内		料醫俸		賞典		内		譯			
三九二九一												一三四七三		五三八九二		一〇		三三三九〇		一四九四九		四四〇一四		三三七七〇		三三三九〇	
班長		計備看護婦技師事務員事務員調劑員藥局長齒科医										職員		数		一人平均額		月額		年額		内譯青島診療班ト同シ					
一〇		一										一〇		一		二四〇〇〇		二四〇〇〇		二〇〇〇〇		二〇〇〇〇		二〇〇〇〇		二〇〇〇〇	
一六八〇〇		一六八〇〇										二四〇〇〇		二四〇〇〇		二四〇〇〇		二四〇〇〇		二四〇〇〇		二四〇〇〇		二四〇〇〇		二四〇〇〇	
二四五〇〇		二四五〇〇										三五〇〇〇		三五〇〇〇		三五〇〇〇		三五〇〇〇		三五〇〇〇		三五〇〇〇		三五〇〇〇		三五〇〇〇	
一六八〇〇		一六八〇〇										二四〇〇〇		二四〇〇〇		二四〇〇〇		二四〇〇〇		二四〇〇〇		二四〇〇〇		二四〇〇〇		二四〇〇〇	
二〇一六〇〇		二〇一六〇〇										二〇一六〇〇		二〇一六〇〇		二〇一六〇〇		二〇一六〇〇		二〇一六〇〇		二〇一六〇〇		二〇一六〇〇		二〇一六〇〇	

H-0036

0418

食料												日當											
二七、五五七												三一、二〇七											
医員	班長	計	廂人	看護婦	婦長	技術員	事務員	事務長	調剤員	薬局長	歯科医	医員	班長	計	廂人	看護婦	婦長	技術員	事務員	事務長	調剤員	薬局長	歯科医
一〇	一	四	二	一九	一	一	三	一	一	一	一	一〇	一	四	二	一九	一	一	三	一	一	一	一
二五〇	二五〇		一〇〇	一五〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	三〇〇	二〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	四〇〇		五〇〇	三〇〇	五〇〇	六〇〇	六二四	一二二五	六八八	九一〇	九一〇
二五〇	二五〇		二〇〇	二八五	二〇〇	二〇〇	六〇〇	三〇〇	二〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	四〇〇		一〇〇八	五七七六	五〇四〇	六〇〇〇	一八七二	一二二五	六八八	九一〇	九一〇
九一三五〇	九一三五〇	三二二〇七	七三〇〇	一〇、四〇、二五〇	七三〇〇	七三〇〇	二一九〇〇	一〇、九五〇	七三〇〇	一〇、九五〇	一〇、九五〇	一〇、九五〇	一、四六〇	三九二九一六	一、二〇九六	六九三一	六〇四八	七二〇〇	二二四六四	一、四七〇	八二五六	一〇、九二〇	一〇、九二〇

H-0036

0419

第三診療班費内譯 (石原莊)				第二診療班費内譯 (上海)			
科	科目	金額	内譯	科	科目	金額	内譯
俸給料	賞與	五三八九二	内譯第一診療班ト同ジ	計	齒科医	二五〇	二七、五五七
加	料	一三、四七三		庸人	一	二五〇	
日	當	三九、二九一		着護婦長	一	二五〇	
食	料	三、二〇七		婦長	一	二五〇	
=				=			
俸給料	賞與	五三八九二	内譯第一診療班ト同ジ	事務員	一	二五〇	二七、五五七
加	料	一三、四七三		技術員	一	二五〇	
日	當	三九、二九一		事務員	一	二五〇	
食	料	三、二〇七		事務員	一	二五〇	
=				=			
俸給料	賞與	五三八九二	内譯第一診療班ト同ジ	計	調劑員	一	二七、五五七
加	料	一三、四七三		事務員	一	二五〇	
日	當	三九、二九一		事務員	一	二五〇	
食	料	三、二〇七		事務員	一	二五〇	
=				=			

第四診療班費内譯 (大原) 本班本年六月編制派遣二村十三年度ニ於テ七月分ヲ計ス

科 目		金 額	内 譯				
俸給給料		四四九一〇	職 名	数	一人平均額	目 額	年 額
賞 與		一一二二七	班 長	一	三三〇〇〇	三三〇〇〇	三三〇〇〇
			医 員	一〇	二四〇〇〇	二四〇〇〇〇	二四〇〇〇〇
			齒 科	一	一三〇〇〇	一三〇〇〇	一三〇〇〇
			兼 局 長	一	一三〇〇〇	一三〇〇〇	一三〇〇〇
			調 劑 員	一	八六〇〇	八六〇〇	八六〇〇
			事 務 長	一	一七五〇〇	一七五〇〇	一七五〇〇
			事 務 員	三	七八〇〇	二三四〇〇	二三四〇〇
			技 術 員	一	七五〇〇	七五〇〇	七五〇〇
			婦 長	一	六三〇〇	六三〇〇	六三〇〇
加 俸		三二七四三	着 護 婦	一	三三八〇〇	七二二〇〇	七二二〇〇
			備 入	二	六三〇〇〇	一二六〇〇	一二六〇〇
			計	四一			四四九一〇〇〇
			班 長	一	二四五〇〇	二四五〇〇	二四五〇〇
			医 員	一〇	一六八〇〇	一六八〇〇〇	一六八〇〇〇
			齒 科 医	一	九一〇〇	九一〇〇	九一〇〇
			兼 局 長	一	九一〇〇	九一〇〇	九一〇〇
			調 劑 員	一	六八八〇	六八八〇	六八八〇
			事 務 長	一	一二二五〇	一二二五〇	一二二五〇
			事 務 員	三	六二四〇	一八七二〇	一八七二〇
			技 術 員	一	六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇
			婦 長	一	五〇四〇	五〇四〇	五〇四〇

H-0036

0421

食料										日當													
二二九五二										二五九九二													
婦長	技術員	事務員	事務長	調剤員	藥師長	齒科医	医員	班長	計器室	廊入	看護婦	婦長	技術員	事務員	事務長	調剤員	藥師長	齒科医	医員	班長	計	廊入	看護婦
一	一	三	一	一	一	一	一〇	一	四	二	一	一	一	三	一	一	一	一	一〇	一	四	二	一
一五〇	一五〇	一五〇	二五〇	一五〇	二五〇	二五〇	二五〇	二五〇		一〇〇	一五〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	三〇〇	二〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	四〇〇		五〇〇	三〇〇
一五〇	一五〇	四〇〇	二五〇	一五〇	二五〇	二五〇	二五〇	二五〇		二〇〇	二八五〇	二〇〇	二〇〇	六〇〇	三〇〇	二〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	四〇〇		一〇〇	五七七六〇
四五六〇	四五六〇	一三六八〇	七六〇〇	四五六〇	七六〇〇	七六〇〇	七六〇〇	七六〇〇	二五九九二〇〇	六〇八〇	八六六四〇	六〇八〇	六〇八〇	一八二四〇	九一三〇	六〇八〇	九一三〇	九一三〇	九一三〇	一、二一六〇	三二七四三〇	一〇〇八〇	五七七六〇

H-0036

0422

薬劑材料費各班内譯							
計	其他	浴療用 消耗品	繙帶材料	試薬品	新薬品	局方品	品名 班名
一〇八〇〇	三五〇	六〇〇	二五〇〇	一三〇〇	三九〇〇	二一五〇	漢口班
一〇八〇〇	三五〇	六〇〇	二五〇〇	一三〇〇	三九〇〇	二一五〇	濟南班
一〇八〇〇	三五〇	六〇〇	二五〇〇	一三〇〇	三九〇〇	二一五〇	青島班
一〇八〇〇	三五〇	六〇〇	二五〇〇	一三〇〇	三九〇〇	二一五〇	第一班
一〇八〇〇	三五〇	六〇〇	二五〇〇	一三〇〇	三九〇〇	二一五〇	第二班
一〇八〇〇	三五〇	六〇〇	二五〇〇	一三〇〇	三九〇〇	二一五〇	第三班
九〇〇〇	一三五〇	五〇〇	二一五〇	一、三二五〇	三三〇〇	一、五五〇	第四班
七三、八〇〇	二、四七五	四、一〇〇	一七、一五〇	八、九七五	二六、七〇〇	一四、四七五	計

二六

計	有護婦 痛入	一九
四一	二	一五〇
		一五〇
		二八五〇
		六、六四〇〇
二、九五二〇〇	九、二〇〇	

二五

一人額	男子班員用品							区分	品名	所持定数	價格
	作業服	毛布	飯盒	水筒	靴	卷脚絆	夏衣袴				
一六三円五〇銭	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	六	三	八	一	一	〇	四	〇	三	四	一
	三	〇	〇	六	二	〇	九	〇	〇	〇	五
	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

一人額	女子班員用品							区分	品名	所持定数	價格
	前着	作業服	毛布	飯盒	水筒	靴	夏衣袴				
一六七円一五銭	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	四	一	六	三	八	一	一	〇	四	三	四
	二	三	三	〇	〇	六	二	〇	〇	〇	五
	〇	五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

被服器具(一名分支給内訳)

計	其 補 給 費	齒 科 用	内 科 用	耳 鼻 科 用	産 婦 科 用	外 科 用	品 名 率 名
一、二〇〇〇	一、〇〇〇	一、五〇〇	二、五〇〇	一、三〇〇	二、二〇〇	三、五〇〇	漢口班
七、〇〇〇	二、〇〇〇	五〇〇	一、〇〇〇	八〇〇	一、二〇〇	一、五〇〇	濟南班
七、〇〇〇	二、〇〇〇	五〇〇	一、〇〇〇	八〇〇	一、二〇〇	一、五〇〇	青島班
一五、〇〇〇	五、〇〇〇	二、〇〇〇	三、〇〇〇	二、〇〇〇	二、五〇〇	五、〇〇〇	第一班
四、五〇〇	四、五〇〇	三、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	九、五〇〇	一六、〇〇〇	第二班
四、五〇〇	四、五〇〇	三、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	九、五〇〇	一六、〇〇〇	第三班
四、五〇〇	四、五〇〇	三、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	九、五〇〇	一六、〇〇〇	第四班
一七、六〇〇	一、九〇〇	一、三〇〇	二、五〇〇	二、三〇〇	三、五〇〇	五、九〇〇	計

醫療器具費各班内譯

文化事業部長

第一課長 魚

米内山領事

川口副領事

防疫事業ニ就キ豫備費請求ノ件

(一三、八三〇、宮崎文化二課長)

八月二十九日午後二時大藏省橋本事務官ノ希望ニヨリ宮崎ハ會計課長、足羽理事官、田邊同仁會專務理事及小澤同會經理部長同伴大藏省ニ出向タリ。

橋本事務官ハ本省會計課提出ノ書類ニ就キ諸般ノ説明ヲ求メタルモノ内最モ問題ニセルハ約五拾參萬圓ノ初度調辨ナリ、如何ニシテ該金額ヲ支拂タルヤト支拂豫算參拾參萬圓ノ金額ニ對比シテ相當問題視シ居リタリ。

其ノ他防疫班及診療班職員ニ支給スル日當及食料ハ一ヶ年分計上シアルニ對シテ異議ヲ有セリ。(右ハ時局ノ見通シツカス現地ノ狀況亦不明ナリシ爲救護班ヲ組織派遣スルニ際シ本邦出發以降歸還ノ日迄ヲ一ノ出張ト見做シタニ依ルモノニシテ其後防疫班ノ組織ニ當リテモ右ノ趣旨ニテ給與規程ヲ作りタル爲防疫班職員ニモ前記ノ旅

外務省

要録

費日當ヲ支給セリ。然レ共今日ハ略々防疫班、救護班トモ一定ノ地ニ定著セルモノ増加セルヲ以テ前記給與規程ハ適當ニ改正スヘキモノト思考ス。

橋本事務官ヨリ要求ノ資料左ノ通

(イ) 最近ノ支那ニ於ケル傳染病發生狀況調書、即チ本年八月九日文化事業部作成ノ調書記載ノ續キトナルモノ。右ハ文化事業部第一課ニテ取繼メ度。

(ロ) 初度調辨約五拾參萬圓ノ支拂狀況ニ關スル資料。

(ハ) 診療班及防疫班ノ現在ニ於ケル職員數ニ關スル資料。

(ニ) 要求ニ係ル防疫事業費中藥劑材料費拾壹萬壹千九拾九圓ヲ以テ購入シ得ル藥劑材料ノ内譯ニ關スル資料。

右ノ中(イ)以外ハ同仁會ニテ作成當部ヲ經由シテ大藏當局ニ提出スルコトナレリ。但右資料ハ會計課ヲ通シテ送附方取訖ハレ度。橋本事務官ヨリ防疫事業費ハ人件費カ多額ニシテ藥劑材料費等ノ

外務省

掲上少キハ如何ニモ不思議ナリ、其ノ理由ヲ十分説明サレ度ト要求アリタルニ付宮崎、田邊、小澤ノ三名ヨリ説明ヲナシタルモ未タ十分ニハ承服セサリシ模様ナリ。
大藏省當局ハ防疫事業費ハ必要トスル丈支出スルノ意嚮ナルモ診療事業費ニ關シテハ相當ニ考慮スル處アルモノノ如シ。

以上

外務省

H-0036

0426

文化
第二課長

第一課長

米内山領事

本件を以て
九月三日

利

防疫及診療事業に付
豫備費請求ノ件

第二課長

用

SEP 1

(美濃半截野紙) 1938

九月一日同仁会田中經理平及小澤經理部長
より大抵橋本中務長ノ請求ニ對シテ書類ヲ提出ス
ル。是ニテ必要ナル書類ニ全部提出シテ。査定ニ付
一、昭和十三年度ニ於テ診療事業ノ為
既ニ支出スル金額内淨(別紙添付)
ニ診療事業開始以來今日迄ノ診療患者
數(別紙添付)
三、診療費請求書中ノ医療器械費ノ内訳明細書
但、八五、六、二、四九〇ノ後、
四、備品費ノ明細(但北支ノ分)

要再回
川口副領事

備考 三四ノ書類ニ係部也。在外事務也。以上

H-0036

0427

別紙一

同仁會診療班

昭和十三年度事業費臨時補助金收支内譯

一收入

臨時補助金 元五〇〇〇〇〇 第二回交付金(北京医院擴張費)

同 元七〇〇〇〇 第三回交付金

借入金 元五九四〇〇

合計 元六五九四〇〇也

二支出(自四月一日至八月末日)

(一)土地買收費 元五〇〇〇〇〇也

(四)診療班事業費 元四七五九四〇〇也

内譯

財團法人 同仁會

班名	人件費	物件費	前後資金	計
漢口班(杭州)	一四、六六元	二七元	參四、五〇〇	四九、參九元
青島班(青島)	五元七	四、五四元	元八〇〇〇	元參、〇六元
濟南班(濟南)	九四元	六、六〇五	參六、〇〇〇	四、參、五四元
第一班(南京)	參參元七六	七、九九五	參〇、〇〇〇	七〇、四七元
第二班(上海)	元四、四六六	參八、九六五	元九、〇〇〇	八、元、參九元
第三班(原花)	元四、六四元	五元、八七九	參五、〇〇〇	元九、元、五元
第四班(太原)	元九、六四元	五元、八八四	參、元、參五元	元九、元、五元
合計	元六、五九四元	元六、五九四元	元四、八五〇	元四、七、五四元

秋

林課長

長

1938

昭和十三年九月三日

防疫事業及同仁會ノ診療事業ニ對シ
豫備金支出ノ件

九月二日午後大藏省主計局橋本事務官ノ要求ニヨリ土田會計課長
足羽理事官及宮崎ハ大藏省ニ出頭シ同事務官ト會見ス。同事務官ハ
本日ハ谷口主計局長ノ代理トシテ主計局長ノ言葉其ノ儘ヲ傳言スト

車

九月五日午お土田會計課長ノ内放
ニ依リ主計局長ニ對シテ谷口主計局長ノ
谷口主計局長ノ内放ニ依リ主計局長ノ
計ニ對シテ一般會計局長ノ延上呈シ
九月二日午後大藏省主計局長ノ代理トシテ
ルヘキモノト思考ス。

外務省

H-0036

0431

要録

文化事業部長

寫

秘

林課長

第一課長

SEFS 1938

米内山領事

川口副領事

小林囃託

昭和十三年九月三日

防疫事業及同仁會ノ診療事業ニ對シ
豫備金支出ノ件

九月二日午後大藏省主計局橋本事務官ノ要求ニヨリ土田會計課長
足羽理事官及宮崎ハ大藏省ニ出頭シ同事務官ト會見ス。同事務官ハ
本日ハ谷口主計局長ノ代理トシテ主計局長ノ言葉其ノ儘ヲ傳言スト
ノ前提ヲ置キタル上左ノ通述ヘタリ。
「防疫事業及診療事業ノ内容ニ就テハ十分研究ヲ遂ゲタル處例ヘハ
出先職員ノ出張及任務等ニ關シテハ全ク方面軍醫部長ノ命令ヲ受ク
ルコトト爲リ居リ又事業ノ幅ノ「コントロール」モ外務大臣ノ手ヲ
離レテ軍ノ手ニ存スル次第ナレハ本件支出要求ハ陸軍ニ對シテ爲サ
ルヘキモノト思考ス。」

外務省

同事務官ハ更ニ附言シテ右主計局ノ決定ニ對シテハ種々反對論アルヘシト思考スルモ自分ニ違ヘララルモ無厭ナコト故前記主計局長ノ決定ニ關スル疑問ノ點ノミヲ説明申上クルニ止メ議論ニ立入ルコトハ避ケタシト言ヘリ。

仍テ會計課長及官給ヨリ

(イ) 現在支那ニ於ケル各職員ノ活動ハ悉ク軍ノ區署ヲ受ケサレハ何事モ爲シ得ス。然レハトテ軍ノ區署ヲ受クルモノハ全部其ノ經費ヲ軍ヨリ賄フトノ建前ヲ取ルナレハ理論ハ一貫セルモ然ラスシテ軍ニ前記ノ理由ヲ以テ本件要求ノミヲ突キ離サルルコトハ甚タ當ヲ得サルモノナリ。

(ロ) 本件ヲ知新取扱フコトハ事業ノ性質ニ鑑ミ相當重大ナル問題ヲ惹起スヘシ。

(ハ) 北京在留日本人ノ小學校校舍建築補助ノ件ハ文化事業部カ國策ノ見地ヨリ節約額ヲ財源トシテ之ヲ支辨スルコトヲ引受クルコトニ

外務省

決定シタルモノナルモ右ハ元來主計局カ對支文化事業特別會計ノ根本原則ヲ無視シテ當方ニ希望セラレタルニ依ルモノナリ。ソレニモ拘ラス本件ヲ前記ノ理由ヲ以テ突撥ネントスルハ如何ニ大藏當局カ横車ヲ押スモノナルカヲ決メ示スモノナリ。以上ノ諸理由ヲ以テ一應對抗シタルカ橋本事務官ノ口吻ニヨレハ本件主計局ノ決定ハ理論ニ依ルモノニ非ス寧ろ豫備費支出ノ遺縁ノ必要、換言スレハ本件要求ヲ拒絕スル目的ヲ以テ前記ノ如キ理由ヲ授用セルニ過キササルコト明白トナレリ。

(例) ハ占領地ニ於ケル行政ハ悉ク軍司令官ノ區署ヲ受クルトハ雖モ外務省所管事項ニ關スル經費ハ外務省ヨリ要求スル建前ナルコトハ橋本事務官モ認メ居リ現在我軍ノ占據地域ニ於テハ公然軍政ハ布キ居ラサルモ之ニ準スル狀態ニアルコトモ亦大藏當局ハ之ヲ知悉シ居レルヲ以テ本件要求拒絕ノ理由ハ極メテ手前勝手ナルモノナリ。之ニ對シ橋本事務官ハ豫算ニ關スル限り大藏省ノ決定ハ決シテ理論ノミヲ以テ終始スルモノニ非スト辨疏セリ。

外務省

本件要求ニ對スル主計局ノ決定前送ノ通ナレハ會計課長及宮崎ハ兎モ角モ今迄延引シタル支拂豫算ハ至急ツケルコトトスル一方本件要求ニ關スル主計局ノ決定ヲ其儘ニテ受諾スルヤ否ヤハ今後外務省ニ於テ研究ヲ了スル迄懸案トセラレ度ト要求シタル處先方ハ之ヲ諒承シ支拂豫算ニ關シテハ大藏當局ハ九月五日日本銀行ニ令達ヲナスコトヲ承諾セリ。

宮崎ハ歸省シテ本件願末ヲ峰谷部長ニ送一報告シ未ダ本件ハ脈ノ切レタ次第ニ非ルニ付本省側ニ於テ引續キ政治的手段ヲ以テ善處シ若シ之モ亦效ヲ奏セザル場合ニハ防疫事業及診療事業ニ充テタル豫算ハ全部使用シ盡シタル次第ニ非ルヲ以テ經費ノ續ク限リ事業ヲ行ヒ本年十月末頃防疫班及診療班ヲ召喚スル決心ニ到達セリ。

次テ宮崎ハ同仁會田邊事務理事ニ之ヲ通報シ(後刻田邊及小澤兩氏來部ニ部長室ニ於テ部長ヨリ前記ノ願末ヲ聽取セリ)又陸軍省醫務局神林衛生課長目下北京ニ在ルヲ以テ宮崎ハ同課ノ阪崎軍醫少佐ヲ往

外務省

訪シテ前述ノ経緯ヲ内報スルト共ニ本件ニ就テハ外務省ニ於テ尙善處スル途アルヲ以テ此際陸軍ニ對シ何等カノ行動ニ出ラレ度ト要求スル次第ニ非ル旨ヲ反覆申入置タリ。同少佐ハ本件ニ關スル大藏當局ノ處置ガ余リニ沒常議ナルコトニ呆レタル面持ニテ神林課長歸任ノ上ハ運一報告スルハ勿論ナルモノソレ迄ニ本件ハ小泉醫務局長ニ内報シ又軍務局ノ係官富田少佐ニモ聯絡シ置クベシト言ヘリ。

九月三日午前十時土田會計課長ヨリ宮崎ニ對シテ電話ニテ内報セル所ニ據レハ二日宮崎退席ノ後備本事務官ヨリ種々聽取シタル處同事務官ノ内話ニ依レバ二日午前大藏省係官ノ會議ニ於テ本件ヲ十分審議シ頗ル順調ニ進行シタル處本事業ガ軍ノ隷下ニ屬スル點ニ引掛リタル一方最近ノ各種災害ノ爲豫備金ノ遺繰ニ懸念生シタル事情モアリ結局横田事務官(陸軍省擔當)ヲ會議ニ招致シテ前記ノ通りノ決定ニ到達シタル由ニテ同事務官ハ本件ハ二日ニ上局ニ對シ充分説明ヲ爲シ上局ノ記憶尙新タナレバ九月三日中ニ外務省側ヲ早速政治的

外務省

工作ニ乗出スコトヲ得策ト思考スト迄語レル由ナリ。
九月三日午前峰谷文化事業部長ハ大藏省谷口主計局長ヲ往訪シテ種々説明ヲ加ヘタル結果主計局長ハ峰谷部長ニ對シ再考ヲ約セリ。依テ宮崎ハ右ヲ直ニ土田會計課長、同仁會(田邊小澤兩氏不在ナリシニ付取次ノ者ニ用件ヲ口授書取ラシム)及陸軍省醫務局阪崎軍醫少佐ニ轉報セリ。

九月三日午後田邊專務理事宮崎ヲ來訪シ二日ノ頓末ヲ小泉醫務局長ニ話シタル處(田邊理事ハ本日午前軍人會館ニ於テ同局長ト會談ノ機會ヲ得タリ)同局長ハ「大藏當局カソナ事ヲ言フナラハ其ノ趣旨ヲ書面ニ認メサセテ之ヲ受理シタル上自分ニ吳ルレハ自分ハ次官會議ニ附シテ直ニ解決セシムヘシ」ト言ヒタル次第ヲ内報セリ。
本件經過ハ田邊專務理事ヨリ林同仁會會長及兒玉岡副會長ニ一應内報濟ノ由ナリ

(終)

外務省

昭和十三年九月十三日

文化事業部



寫

九月十九日午前二時
大和町橋下平坊
至三三三三三三

要級込

参考

支那ニ於ケル我診療救護事業ノ效果ニ關スル
一面ノ觀察

今回ノ事業開始以來支那各地ニ散在スル外國人宣教師及ヒ宗教團體
ハ其ノ具備スル醫療機關ニヨリ相當支那避難民ノ救護ニ從事セント
スルモノ續出スル傾向ヲ見タル處我方ハ迅速ニ占據地域ノ擴大ニ順
應シテ不取敢主要地點ニ夫々同仁會ノ救護班ヲ派遣シ之等ヲシテ不
取敢診療所ヲ開設セシメタル結果該地域ニ於テ今日迄第三國人カ勝
手ニ醫療救護事業ニ乗出スカ如キ事ヲ阻止シ又ハ積極的ニ醫療事業
ニ付我方ト協力ヲ申出ルモノ有ルニ至レリ。其ノ狀況概ネ左記ノ如
シ。

(一) 上海ニ於テ南市一帯カ我軍ノ占據スルトコロトナルヤ「加特力」
救護班「ジャキノ」(佛國人)ハ南市ニ避難民ヲ收容シ應急ノ

外務省

13.8

救濟ヲ爲スト共ニ醫療救護ヲ行ヒタルカ我方ハ嚴ニ避難民收容地
域ヲ整備スルト共ニ同仁會救護班ヲ派遣シテ南市ノ舊上海市立病
院跡ニ診療所ヲ開設セシメ難民ニ對シ醫療救護ノ手ヲノヘタル結
果佛人「ジャキノ」一派ノ活動ハ大ニ制約ヲ受ケタリ。閉ク所
ニ據レハ進般「ジャキノ」ハ渡米シ「加特力」關係方面ヨリ米
貨約二百萬磅ヲ入手シテ上海ニ歸レリトノ確報アルヲ以テ若シ我
方醫療救護事業不十分ナルニ至ラハ必スヤ佛國系「加特力」救護
ノ大活躍ヲ促スニ至ルヘシ。

(二) 本年三月上旬米國清教徒團體ノ代表者ニシテ嘗テ國際聯盟ノ委囑
ヲ受ケ大戦後ノ歐洲諸國ノ避難民救護事業ニ當リタリト稱スル者
本省文化事業部長ヲ來訪シ支那ニ於ケル醫療救護事業ニ着手スル
目的ヲ以テ不取敢現地調査ニ必要ナル便宜供與方ヲ要求セル處文
化事業部長ハ兎モ角モ萬事ハ現地ニ於ケル我官憲ト協議スルヲ可
トスヘキ旨ヲ説示シテ在上海日高總領事ニ之ヲ紹介セル處同總領

13.8

外務省

H-0036

0436

事ハ彼等ヲ接見シテ一應計畫ヲ確取シタル後出先軍部機關ト協議ノ上我方占據地域ニ關シ必要ナル手當ハ行届届ルコトヲ理由トシテ彼等ノ我占據地域内ニ於ケル活動開始ヲ阻止セリ。

(三)蘇州陷落後同地ニ米國系宗教團體ノ經營スル福音醫院ニ收容シタル諸種ノ患者約八十名ヲ我方ノ指導ニ依リ新市政府ヲシテ同地博習醫院ニ收容セシメタルカ其ノ後當方面ノ治安回復シタルヲ以テ逃避セル米國系宗教團體所屬ノ醫師ハ復歸シテ前通り醫療事業ニ從事セントシテ再三在上海總領事館ニ申入ルル次第アリタルカ同總領事館ハ同館蘇州分館主任ト協議ノ上支那避難民ノ醫療救護事業ハ我方ノ手ヲ以テ十分行ヒ得ルコトヲ理由トシテ彼等ノ復歸ヲ阻止シ居リタリ。因ニ蘇州ニ於テハ方面軍ノ軍醫官カ公務ノ余暇ニ出張シテ醫療ニ當リ居リタリ。蘇州ニハ近キ將來ニ於テ同仁會ノ診療所ヲ開設スル必要アリ。

(四)杭州ニハ佛國系「カトリック」救國體ノ經營スル醫院二、三アル

外務省

13. 8

トコロ其ノ中最有力ナルハ英國聖公會ノ經營スル廣濟醫院ニシテ右ハ事變後同地ニ同仁會醫院開設セラレタルヲ以テ其ノ救護活動ヲ最少限度ニ止メ而モ萬事同地ノ我領事館側ト連絡ヲ遂ケ面倒ナル事端ノ發生ヲ防止シツツアリ。又同地ニ於ケル佛國系「カトリック」救國ノ經營スル仁愛醫院ハ同仁會醫院開設後ハ之ニ對シ應急ニ必要ナル醫藥材料供給方ヲ懇請シ來リタル等ノ事アリ我方醫療機關ニ依頼スル態度ヲ示スニ至リ其ノ間良好ナル空氣ヲ醸成セリ。

(五)南京ニ於テハ同仁會醫院開設直後ハ陰ニ陽ニ支那人ト連絡シ同地ノ救護醫院ハ同仁會醫院ノ活動ヲ阻止スル態度ニ出タルカ我方醫院開設後次第ニ成績ヲ擧ケ毎日多數ノ支那人患者ヲ吸收スルニ至レルヲ以テ救護醫院ニハ患者集ラス醫院經營ハ相當行詰レルニ至レル模様ナリト傳ヘラル。恐ラク特別ノ事情無キ限り將來此ノ狀況ヲ持續セン。

13. 8

外務省

H-0036

0437

(内) 本年九月二日在孟買領事來電ニ據レハ印度「コングレス」黨ヨリ
 支那ニ醫療救護班ヲ派遣スルコトナリ同班ハ五十四箱ノ醫療品
 孟買州政府ヨリ寄贈ノ「コレラ」及痘瘡注射液三萬二千G、C、
 及外科設備(二十名分ノ寢舎等)ヲ携帶シテ九月一日孟買發香港
 ニ急行セリ。右一行ハ香港ニ到着ノ上ハ支那赤十字社ノ區署ヲ受
 ケテ活動ヲ開始スル趣ナリ。
 其ノ後在新嘉坡總領事ノ來電ニ依レハ右救護班新嘉坡ニ到着ノ際
 其ノ主腦者ハ同地ノ華僑ニ對シ「自分達ハ東亞ニ於ケル帝國主義
 ト戰ヒ東亞ニ平和ヲ實ス使命ヲ有スルモノナリ云々」ト豪語シタ
 リト云フ。
 (外) 蕪湖陷落後發生シタル事端ナルカ同地ニ於テハ一米國人醫師アリ
 我方ノ許可ヲ受クルコトナクシテ醫療事業ニ從事シ其ノ後再三軍
 側ノ注意ヲ受ケタルモ之ニ聽從セサリシ事アリ。宗教團體ノ派遣
 シタルト個人經營ノモノタルトヲ不問歐米人醫師ハ兎角醫療行爲

外務省

ヲ利用シテ反日宣傳ヲナス傾向アルナリ。
 (終)

外務省

H-0036

0438

秘

寫

本件奉送り見
令行得也、
陸軍中務大臣

要報

昭和十三年九月十四日 官崎 申

診療救護事業及防疫事業ニ關シ第二豫備金
支出要求ニ關スル交渉経過

本件第二豫備金支出要求ニ付テハ豫テ大藏省主計局ニ書類ヲ提出シ
主任官本事務官ニ對シテハ其ノ要求ニ應ジ當部ヨリ各種ノ資料ヲ
提供シ土田會計課長ヲ首トシ、官崎文二課長及同仁會出邊事務理事
等ヨリ詳細説明スル處アリタル次第ナルカ九月二日ニ至リ主計局長
ノ意圖トシテ本事務官ハ土田會計課長及官崎ニ對シ診療、防疫兩
事業トモ專ノ轄下ニテ行フ事業ニシテ仕事ノ幅モ專ラ專ラノ意圖ニ依
リテ左右セラレ外務大臣ハ其ノ責任ヲ執リ得サルカ如キヲ以テ本件
經費ノ支出ハ陸軍ニ對シテ行フヘキモノナリトノ趣旨ヲ以テ當方安
求ヲ全面的ニ突換ネタリ。仍テ九月三日午前峰谷文化事業部長ハ
谷口主計局長ヲ往訪シテ本件事業ハ外務大臣ノ責任ニ於テ實施スル

外務省

13.6

モ其ノ實施ニ付テハ軍ノ轄下ニ於テ行フコトノ便利ナルコト及現地
ノ狀態ヲ考フレハ右ノ外ニハ適當ナル方法無キコトヲ説明シタル上
外務省側要求ヲ査定派額セラルルコト有リテモ數方無キモ主計上全
面的ニ要求ヲ突換ネラルルコトハ困ルトノ趣旨ヲ申入タル處主計局
長ハ之ヲ瞭解シテ再考ヲ約セリ。右ト同時ニ事務的ニハ土田會計
課長ト橋本事務官トノ間ニ接衝ヲ續ケタルカ九月十日ニ至リ同事務
官ハ土田會計課長及官崎ヲ大藏省ニ招致シテ左記ノ査定案ヲ内示セ
リ。

大藏省査定案

(一) 診療救護事業ニ付テハ最近兩年度ニ同仁會ニ對シ補助金ヲ増加シ
タル次第ナレハ同仁會ヲシテ補助金ノ範圍内ニ於テ事業ヲ實施セ
シメラレ度此ノ除豫備金ノ請求ハ認メ難シ。
(二) 防疫事業ニ付テハ主計上要求ヲ認メ得ルモ昭和十三年度ノ實行採
算ヲ査定派額シテ實行採算ヲ縮少シ而シテ現ニ與ヘラレタル豫算

13.6

外務省

H-0036

0439

繼續トノ差額タケテ豫備費ヨリ支出スル越前ヲ執リ實行豫算中ノ左記項目及金額ヲ否認セリ。

本部修繕費中ノ賞與額否認 一、三六〇圓

接待費(金額否認) 一、〇〇〇圓

出先職員俸給中賞與額否認 一〇二、六四八圓

日當(金額否認) 二二五、二六四圓

食料(同上) 二一八、四二四圓

傷病手當(一部否認) 四一、五六〇圓

自六月 人員補充計畫額少ニ因ル不費額 一三〇、〇〇〇圓

至八月 以上實行豫算中否認額合計 七二〇、二五六圓

右ヲ實行豫算支出繼續ニ、〇八七、三一〇圓ヨリ差引ケハ一、三六七、〇五六圓ニシテ之ヨリ百萬圓(豫算計上額)ヲ減シタル残リ三六七、〇五六圓ヲ豫備費ヨリ支出ス。

外務省

九月十一日午前土田會計課長、宮崎、田邊事務理事及小澤經理部長協賛ノ上前記大蔵省ノ査定案ヲ検討ノ上査定ニ應ジ得ル項目及金額ヲ左記ノ通協賛決定セリ。

接待費 一、〇〇〇圓

日當 九〇、六一三圓
(金額ノ十分ノ四)

食料 八七、三六九圓
(金額ノ十分ノ四)

右日當及食料減額合計一七七、九八二圓中ヨリ六萬圓ヲ旅費實費トシテ日當及食料ノ代リニ組替ヘ差引減額可能額 一一七、九八二圓

人員補充計畫費更ニ因ル不費額ヨリ日當及食料減額ニ因ル二重引キノ分四萬圓ヲ控除ス 九〇、〇〇〇圓

外務省

H-0036

0440

傷病手當 四一、二六〇圓
 減額可能額合計 二五〇、五四二圓

右ノ減額ヲ爲シタル後ノ實行豫算總額ハ一、八三六、七六九圓ナレハ百萬圓ヲ差引キ豫備支出要求額ハ八三六、七六九圓トナル。

右成案ヲ持テ同日午後土田會計課長及官崎ハ大藏省ニ橋本事務官ヲ往訪シテ之ヲ提示シタル處同事務官ハ(1)補助團体職員ニ對シ賞與ヲ支給スル爲ニ豫備金ヲ支出スルコトハ主權上總辦ニ不可ナルコト。(2)防疫事業ハ當初ヨリ移動性アルモノニシテ而モ職員ニ對スル給與ハ良進キル狀況ナルヲ以テ日當及食料ノ計上ハ認メ難シト主張シ、之ニ對シ官崎モ亦自説ヲ固執シタル爲全ク意見ノ對立ニ陥リテ妥協點ヲ發見シ得ス。橋本事務官ハ外務省ノ首分ハ上司ニ傳達スヘキモ飽ク迄自説ヲ頑張り主張スヘシト言ヘリ。官崎退任後橋本事務官ハ土田會計課長ニ對シ防疫事業ニ對スル豫備費支出ハ五十萬圓位迄ハ可能ナル旨ヲ内話セル由ナリ。

外務省

診療事業ニ付テハ大藏省側カ全面的ニ拒否シタル爲我方ハ全面的ニ反駁的説明ヲ爲シ、目下派遣中ノ救護班ハ實ハ我占據地域ノ旗表及支那人ノ人口ヨリ考ヘテ最少限度ナルコト。診療救護事業ハ我占據地域ノ支那民衆ノ宣撫ヲ目的トシ我占據地域ノ維持ノ爲ニ缺クヘカラサル工作ノ一ナルコト。診療班ハ戦局ノ擴大ニ順應シテ逸早く支那ノ各要地ニ派遣シタルヲ以テ歐米人カ救護事業ヲ名トシテ歐米依存及反日氣分ヲ煽動スル機會ヲ與ヘ去リ且彼等カ我占據地域ニ入り込ミ不安ナル事端ヲ激發スルコトアルヘキヲ阻止シタルコト。又現在ノ診療班ヲ一部分ニテモ引揚クレハ出先車ノ計畫ニ支障ヲ來スノミナラス、之ヲ撤トシテ非難者ノ診療事業ヲ爲ス者續出スヘク其ノ間禁劑ノ密賣等ヲ爲ス者有ルヘク出先トシテモ凶惡スルニ至ルヘシト等ノ懸念ヲ起ヘタル結果橋本事務官ハ了解シ當方ノ首分ハ上司ニ収次クヘキヲ約セリ。

九月十三日午後峰谷部長ハ北京ヨリ歸京ノ挨拶ノ爲來訪セル増田

外務省

風次博士（東京帝國大學醫學部教授、陸軍軍醫少將、耳鼻咽喉科專
門、現ニ同仁會理事ニシテ百川副會長ノ參謀役トシテ防疫班及救護
班ノ編成ニ付一切ノ計畫ニ參與セリ。學實百川博士ハ堀田博士ニ
渡船セラレ同仁會ヲ引受ケタル経緯アルナリ。一ヲ同伴シテ大藏省
谷口主計局長及大野理財局長ニ會見シテ改メテ診療救護事業ニ付テ
モ先方ノ好意的考慮ヲ求メタルカ峰谷部長ノ觀ル處ニ據レハ大藏省
局ハ本件事業ノ必要性ト效果ニ付テハ充分ナ認識ヲ有セルモ何分本
年度ハ準備費ノ支出尙マタルト特別會計ノ經費不足ヲ一般會計ニテ
繼キ足シテ順フコトニ進出ヲ見付ケルニ困難ナルコト等ニ因リ本件
當方ノ準備金ノ支出要求ノ承認ヲ差レルカ如シトノコトナリ。

（終）

外務省

世保

昭和十三年九月十四日 官崎

馬

文部省

第二課長

米田

川口

要級

診療救護事業及防疫事業ニ關シ第二豫備金
支出要求ニ關スル交渉經過

本件第二豫備金支出要求ニ付テハ豫テ大藏省主計局ニ書類ヲ提出シ
主任官橋本事務官ニ對シテハ其ノ要求ニ應シ當部ヨリ各種ノ資料ヲ
提供シ土田會計課長ヲ首トシ、官崎文二課長及同仁會田邊專務理事
等ヨリ詳細説明スル處アリタル次第ナルカ九月二日ニ至リ主計局長
ノ意嚮トシテ橋本事務官ハ土田會計課長及官崎ニ對シ診療、防疫兩
事業トモ軍ノ隷下ニテ行フ事業ニシテ仕事ノ幅モ專ラ軍ノ意嚮ニ依
リテ左右セラレ外務大臣ハ其ノ責任ヲ執リ得サルカ如キヲ以テ本件
經費ノ支出ハ陸軍ニ對シテ行フヘキモノナリトノ趣旨ヲ以テ當方要
求ヲ全面的ニ突撥ネタリ。仍テ九月三日午前峰谷文化事業部長ハ
谷口主計局長ヲ往訪シテ本件事業ハ外務大臣ノ責任ニ於テ實施スル

外務省

13.6

モ其ノ實施ニ付テハ軍ノ隷下ニ於テ行フコトノ便利ナルコト及現地
ノ状態ヲ考フレハ右ノ外ニハ適當ナル方法無キコトヲ説明シタル上
外務省側要求ヲ査定減額セラルルコト有リテモ數方無キモ主義上全
面的ニ要求ヲ突撥ネラルルコトハ困ルトノ趣旨ヲ申入タル處主計局
長ハ之ヲ諒解シテ再考ヲ約セリ。右ト同時ニ事務的ニハ土田會計
課長ト橋本事務官トノ間ニ接衝ヲ續ケタルカ九月十日ニ至リ同事務
官ハ土田會計課長及官崎ヲ大藏省ニ招致シテ左記ノ査定案ヲ内示セ
リ。

大藏省査定案

- (一) 診療救護事業ニ付テハ最近兩年度ニ同仁會ニ對シ補助金ヲ増加シ
タル次第ナレハ同仁會ヲシテ補助金ノ範圍内ニ於テ事業ヲ實施セ
シメラレ度此ノ際豫備金ノ請求ハ認め難シ。
- (二) 防疫事業ニ付テハ主義上要求ヲ認め得ルモ昭和十三年度ノ實行豫
算ヲ査定減額シテ實行豫算ヲ縮少シ而シテ現ニ與ヘラレタル豫算

外務省

13.6

H-0036

0443

百(分)ノ差額タケテ豫備費ヨリ支出スル建前ヲ執リ實行豫算中ノ
 左記項目及金額ヲ否認セリ。
 本部俸給諸費中ノ賞與額否認
 一、三六〇圓
 接待費(金額否認)
 一、〇〇〇圓
 出先職員俸給中賞與額否認
 一〇二、六四八圓
 日當(金額否認)
 二二五、二六四圓
 食料(同上)
 二一八、四二四圓
 傷病手當(一部否認)
 四一、五六〇圓
 自六月人員補充計畫縮少ニ因ル不要額
 一三〇、〇〇〇圓
 至八月
 以上實行豫算中否認額合計
 七二〇、二五六圓
 右ヲ實行豫算支出總額ニ、〇八七、三一〇圓ヨリ差引ケハ一、三
 六七、〇五六圓ニシテ之ヨリ百萬圓(豫算計上額)ヲ減シタル殘
 リ三六七、〇五五圓ヲ豫備費ヨリ支出ス。

外務省

外務省
 九月十一日午前土田會計課長、宮崎、田邊專務理事及小澤經理部長
 協議ノ上前記大蔵省ノ査定案ヲ検討ノ上査定ニ應シ得ル項目及金額
 ヲ左記ノ通協議決定セリ。
 接待費
 一、〇〇〇圓
 日當
 九〇、六一三圓
 (金額ノ十分ノ四)
 食料
 八七、三六九圓
 (金額ノ十分ノ四)
 右日當及食料減額合計一七七、九八二圓中ヨリ六萬圓ヲ旅費實
 費トシテ日當及食料ノ代リニ組替ヘ差引減額可能額
 一一七、九八二圓
 人員補充計畫變更ニ因ル不要額ヨリ日當及食料減額ニ因ル二重
 引キノ分四萬圓ヲ控除ス
 九〇、〇〇〇圓

外務省

傷病手當

減額可能額合計

四一、二六〇圓
二五〇、五四二圓

右ノ減額ヲ爲シタル後ノ實行豫算總額ハ一、八三六、七六九圓ナレハ百萬圓ヲ差引キ豫備支出要求額ハ八三六、七六九圓トナル。

右成案ヲ持テ同日午後土田會計課長及宮崎ハ大藏省ニ橋本事務官ヲ往訪シテ之ヲ提示シタル處同事務官ハ(1)補助團體職員ニ對シ賞與ヲ支給スル爲ニ豫備金ヲ支出スルコトハ主義上絕對ニ不可ナルコト。

(2)防疫事業ハ當初ヨリ移動性アルモノニシテ而モ職員ニ對スル給與ハ良過キル狀況ナルヲ以テ日當及食料ノ計上ハ認め難シト主張シ、之ニ對シ宮崎モ亦自説ヲ固執シタル爲全ク意見ノ對立ニ陥リテ妥協點ヲ發見シ得ス。橋本事務官ハ外務省ノ言分ハ上局ニ傳達スヘキモ飽ク迄自説ヲ頑張り主張スヘシト言ヘリ。宮崎退出後橋本事務官ハ土田會計課長ニ對シ防疫事業ニ對スル豫備費支出ハ五十萬圓位迄不可能ナル旨ヲ内話セルヲ申ナリ。

外務省

宮崎退出後土田會計課長ハ橋本事務官ト懇談シテ診療事業ニ付テハ更ニ上局ニ對シテ突張ラレ度モ防疫事業ニ付テ肝心ノ主査官カ贊成セストテ頑張ラルルトキハ何トモ爲ラヌ次第ニ付十二日文化事業部長及宮崎ト協議ノ何分ノ申出ヲ爲ス迄主計局上局ニ取次方ヲ猶豫アリ度キ事及此ノ如クスル事カ我方ノ不利ト爲ラサル様適宜好意的措置方ヲ同事務官ニ依頼セリ。

翌九月十二日土田會計課長ハ文化事業部長及宮崎ニ對シ右經過ヲ報告シ且協議シタル結果「理外ノ理トシテ何トカ考慮ヲ加ヘモウニ十萬圓程増シテ貰ヒ度シ」トノ人情論ニテ當ル事ニ決定シ其ノ旨即日土田會計課長ヨリ橋本事務官ニ話シ上局ニ傳達方ヲ依頼セリ(其ノ際同課長ハ診療事業ニ付テハ前日ト同様ノ依頼ヲ反覆申入タリ)

外務省

診療事業ニ付テハ大藏省側カ全面的ニ拒否シタル爲我方ハ全面的ニ反駁的説明ヲ爲シ、目下派遣中ノ救護班ハ實ハ我占據地域ノ廣表及支那人ノ人口ヨリ考ヘテ最少限度ナルコト。診療救護事業ハ我占據地域ノ支那民衆ノ宣撫ヲ目的トシ我占據地域ノ確保ノ爲ニ缺クヘカラサル工作ノ一ナルコト。診療班ハ戦局ノ擴大ニ順應シテ逸早く支那ノ各要地ニ派遣シタルヲ以テ歐米人カ救護事業ヲ名トシテ歐米依存及反日氣分ヲ煽動スル機會ヲ封シ去リ且彼等カ我占據地域ニ入り込ミ不要ナル事端ヲ激發スルコトアルヘキヲ阻止シタルコト。又現在ノ診療班ヲ一部分ニテモ引揚クレハ出先軍ノ計畫ニ支障ヲ來スノミナラス、之ヲ機トシテ非醫者ノ醫療事業ヲ爲ス者續出スヘク其ノ間禁劑ノ密賣等ヲ爲ス者有ルヘク出先トシテモ困惑スルニ至ルヘシト等ノ趣旨ヲ述ヘタル結果橋本事務官ハ了解シ當方ノ言ヒ分ハ上局ニ取次クヘキヲ約セリ。

九月十三日午後蜂谷部長ハ北京ヨリ歸京ノ挨拶ノ爲來訪セル増田

外務省

胤次博士（東京帝國大學醫學部教授、陸軍軍醫少將、耳鼻咽喉科専門、現ニ同仁會理事ニシテ宮川副會長ノ參謀役トシテ防疫班及救護班ノ編成ニ付一切ノ計畫ニ參與セリ。事實宮川博士ハ増田博士ニ激勵セラレ同仁會ヲ引受ケタル經緯アルナリ。）ヲ同伴シテ大藏省谷口主計局長及大野理財局長ニ會見シテ改メテ診療救護事業ニ付テモ先方ノ好意的考慮ヲ求メタルカ蜂谷部長ノ觀ル處ニ據レハ大藏當局ハ本件事業ノ必要性ト效果ニ付テハ充分ノ認識ヲ有セルモ何分本年度ハ豫備費ノ支出嵩ミタルト特別會計ノ經費不足ヲ一般會計ニテ繼キ足シテ賄フコトニ理由ヲ見付ケルニ困難ナルコト等ニ因リ本件當方ノ豫備金ノ支出要求ノ承認ヲ遊レルカ如シトノコトナリ。

(終)

外務省

H-0036

0446

秋

寫

會計課長

隊事務



要級

昭和十三年九月十四日 官崎 康

診療救護事業及防疫事業ニ關シ第二豫備金
支出要求ニ關スル交渉経過

件第二豫備金支出要求ニ付テハ豫テ大藏省主計局ニ書類ヲ提出シ
任重本事務官ニ對シテハ其ノ要求ニ應ジ當部ヨリ各種ノ資料ヲ
提供シ土田會計課長ヲ首トシ、官崎文二課長及同仁會出邊事務理事
等ヨリ詳細説明スル處アリタル次第ナルカ九月二日ニ至リ主計局長
ノ意圖トシテ本事務官ハ土田會計課長及官崎ニ對シ診療、防疫兩
事業トモ專ノ轄下ニテ行フ事業ニシテ仕事ノ幅モ專ラ專ラノ意圖ニ依
リテ左右セラレ外務大臣ハ其ノ責任ヲ執リ得サルカ如キヲ以テ本件
經費ノ支出ハ陸軍ニ對シテ行フヘキモノナリトノ趣旨ヲ以テ當方要
求ヲ全面的ニ突破セタリ。仍テ九月三日午前鎌谷文化事業部長ハ
谷口主計局長ヲ往訪シテ本件事業ハ外務大臣ノ責任ニ於テ實施スル

13.6

外務省

モ其ノ實施ニ付テハ專ノ轄下ニ於テ行フコトノ便利ナルコト及現地
ノ状態ヲ考フレハ右ノ外ニハ適當ナル方法無キコトヲ説明シタル上
外務省側要求ヲ査定減額セラルルコト有リテモ數方無キモ主観上全
面的ニ要求ヲ突破セラルルコトハ困ルトノ趣旨ヲ申入タル處主計局
長ハ之ヲ瞭解シテ再考ヲ約セリ。右ト同時ニ事務的ニハ土田會計
課長ト橋本事務官トノ間ニ接衝ヲ續ケタルカ九月十日ニ至リ同事務
官ハ土田會計課長及官崎ヲ大藏省ニ招致シテ左記ノ査定案ヲ内示セ
リ。

大藏省査定案

(一) 診療救護事業ニ付テハ最近兩年度ニ同仁會ニ對シ補助金ヲ増加シ
タル次第ナレハ同仁會ヲシテ補助金ノ範圍内ニ於テ事業ヲ實施セ
シメラレ度此ノ除豫備金ノ請求ハ認め難シ。
(二) 防疫事業ニ付テハ主観上要求ヲ認め得ルモ昭和十三年度ノ實行豫
算ヲ査定減額シテ總額ヲ縮少シ而シテ現ニ與ヘラレタル豫算

13.6

外務省

H-0036

0447

豫算(百万円)
 準備トノ差額タケテ豫備費ヨリ支出スル建前ヲ執リ實行豫算中ノ
 左記項目及金額ヲ否認セリ。
 本部修給諸費中ノ賞與額否認 一、三六〇圓
 接待費(金額否認) 一、〇〇〇圓
 出先職員修給中賞與額否認 一〇二、六四八圓
 日當(金額否認) 二二五、二六四圓
 食料(同 上) 二一八、四二四圓
 傷病手當(一部否認) 四一、五六〇圓
 自六月人員補充計畫額少ニ因ル不費額 一三〇、〇〇〇圓
 至八月 七二〇、二五六圓
 以上實行豫算中否認額合計
 右ヲ實行豫算支出繰額ニ、〇八七、三一〇圓ヨリ差引ケハ一、三
 六七、〇五六圓ニシテ之ヨリ百萬圓(豫算計上額)ヲ減シタル残
 リ三六七、〇五五圓ヲ豫備費ヨリ支出ス。

外務省

13.6

九月十一日午前土田會計課長、宮崎、田邊専務理事及小澤經理部長
 臨議ノ上前記大蔵省ノ査定案ヲ検討ノ上査定ニ應シ得ル項目及金額
 ヲ左記ノ通協議決定セリ。
 接待費 一、〇〇〇圓
 日當 九〇、六一三圓
 (金額ノ十分ノ四)
 食料 八七、三六九圓
 (金額ノ十分ノ四)
 右日當及食料減額合計一七七、九八二圓中ヨリ六萬圓ヲ旅費實
 費トシテ日當及食料ノ代リニ組替ヘ差引減額可能額 一一七、九八二圓
 人員補充計畫變更ニ因ル不費額ヨリ日當及食料減額ニ因ル二重
 引キノ分四萬圓ヲ控除ス 九〇、〇〇〇圓

外務省

13.6

H-0036

0448

急

會計課長

務員係

18.9.22

第一課長

川

第二課長

川

米内山領事

(美濃半紙紙) (1)

昭和十三年九月十五日

川

計會
18.9.16

医療救護事業、内ニ隊備金要亦、件
件ニ関シ大抵有係及、提名スヘリ
資料トシテ別紙ヲ作中ナリ。右ニ就
東之ニ係及シ、内亦情ノ事ナルカ
貴局ノ上大抵有、送付スルト、致方

以上

外務省

H-0036

0451

寫 秘

昭和十三年九月十三日 文化事業部

支那ニ於ケル我診療救護事業ノ效果ニ關スル
一面ノ觀察

今回ノ事業開始以來支那各地ニ散在スル外國人宣教師及ヒ宗教團體
ハ其ノ具備スル醫療機關ニヨリ相當支那避難民ノ救護ニ從事セント
スルモノ續出スル傾向ヲ見タル處我方ハ迅速ニ占據地域ノ擴大ニ順
應シテ不取敢主要地點ニ夫々同仁會ノ救護班ヲ派遣シ之等ヲシテ不
取敢診療所ヲ開設セシメタル結果該地域ニ於テ今日迄第三國人力勝
手ニ醫療救護事業ニ乗出スカ如キ事ヲ阻止シ又ハ積極的ニ醫療事業
ニ付我方ト協力ヲ申出ルモノ有ルニ至レリ。其ノ狀況概ネ左記ノ如
シ。

(一)上海ニ於テ南市一帯カ我軍ノ占據スルトコロトナルヤ「加特力」
救護班「ジャキノー」(佛國人)ハ南市ニ避難民ヲ收容シ應急ノ

外 務 省

13. 8

救濟ヲ爲スト共ニ醫療救護ヲ行ヒタルカ我方ハ嚴ニ避難民收容地
域ヲ整備スルト共ニ同仁會救護班ヲ派遣シテ南市ノ舊上海市立病
院跡ニ診療所ヲ開設セシメ難民ニ對シ醫療救護ノ手ヲノヘタル結
果佛人「ジャキノー」一派ノ活動ハ大ニ制約ヲ受ケタリ。聞ク所
ニ據レハ過般「ジャキノー」ハ渡米シ「加特力」關係方面ヨリ米
貨約二百萬弗ヲ入手シテ上海ニ歸レリトノ確報アルヲ以テ若シ我
方醫療救護事業不十分ナルニ至ラハ必スヤ佛國系「加特力」救護
ノ大活躍ヲ促スニ至ルヘシ。

(二)本年三月上旬米國清教徒團體ノ代表者ニシテ嘗テ國際聯盟ノ委囑
ヲ受ケ大戰後ノ歐洲諸國ノ避難民救護事業ニ當リタリト稱スル者
本省文化事業部長ヲ來訪シ支那ニ於ケル醫療救護事業ニ着手スル
目的ヲ以テ不取敢現地調査ニ必要ナル便宜供與方ヲ要求セル處文
化事業部長ハ兎モ角モ萬事ハ現地ニ於ケル我官憲ト協議スルヲ可
トスヘキ旨ヲ說示シテ在上海日高總領事ニ之ヲ紹介セル處同總領

13. 8

外 務 省

H-0036

0452

事ハ彼等ヲ接見シテ一應計畫ヲ聽取シタル後出先軍部機關ト協議
ノ上我方占據地域ニ關シ必要ナル手當ハ行届層ルコトヲ理由トシ
テ彼等ノ我占據地域内ニ於ケル活動開始ヲ阻止セリ。

(三) 蘇州陥落後同地ニ米國系宗教團體ノ經營スル福音醫院ニ收容シタル
諸種ノ患者約八十名ヲ我方ノ指導ニ依リ新市政府ヲシテ同地博
習醫院ニ收容セシメタルカ其ノ後當方面ノ治安回復シタルヲ以テ
逃避セル米國系宗教團體所屬ノ醫師ハ復歸シテ前通り醫療事業ニ從
事セントシテ再三在上海總領事館ニ申入ルル次第アリタルカ同總
領事館ハ同館蘇州分館主任ト協議ノ上支那避難民ノ醫療救護事業
ハ我方ノ手ヲ以テ十分行ヒ得ルコトヲ理由トシテ彼等ノ復歸ヲ阻
止シ居リタリ。因ニ蘇州ニ於テハ方面軍ノ軍醫官カ公務ノ余暇ニ
出張シテ醫療ニ當リ居リタリ。蘇州ニハ近キ將來ニ於テ同仁會ノ
診療所ヲ開設スル必要アリ。

(四) 杭州ニハ佛國系「カトリック」教團體ノ經營スル醫院二、三アル

外務省

トコロ其ノ中最有力ナルハ英國聖公會ノ經營スル廣濟醫院ニシテ
右ハ事業後同地ニ同仁會醫院開設セラレタルヲ以テ其ノ救護活動
ヲ最少限度ニ止メ而モ萬事同地ノ我領事館側ト連絡ヲ遂ケ面倒ナ
ル事端ノ發生ヲ防止シツツアリ。又同地ニ於ケル佛國系「カトリ
ック」教團ノ經營スル仁愛醫院ハ同仁會醫院開設後ハ之ニ對シ應
急ニ必要ナル醫藥材料供給方ヲ懇請シ來リタル等ノ事アリ我方醫
療機關ニ信頼スル態度ヲ示スニ至リ其ノ間良好ナル空氣ヲ醸成セ
リ。

(五) 南京ニ於テハ同仁會醫院開設直後ハ陰ニ陽ニ支那人ト連絡シ同地
ノ鼓樓醫院ハ同仁會醫院ノ活動ヲ阻止スル態度ニ出タルカ我方醫
院開設後次第ニ成績ヲ擧ケ毎日多數ノ支那人患者ヲ吸收スルニ至
レルヲ以テ鼓樓醫院ニハ患者集ラス醫院經營ハ相當行詰レルニ至
レル模様ナリト傳ヘラル。恐ラク特別ノ事情無キ限り將來此ノ狀
況ヲ持續セン。

外務省

(内) 本年九月二日在孟買領事來電ニ據レハ印度「コングレス」黨ヨリ支那ニ醫療救護班ヲ派遣スルコトナリ同班ハ五十四箱ノ醫療品孟買州政府ヨリ寄贈ノ「コレラ」及痘瘡注射液三萬二千C、C、及外科設備(二十名分ノ寢會等)ヲ携帶シテ九月一日孟買發香港ニ急行セリ。右一行ハ香港ニ到着ノ上ハ支那赤十字社ノ區署ヲ受ケテ活動ヲ開始スル趣ナリ。

其ノ後在新加坡總領事ノ來電ニ依レハ右救護班新加坡ニ到着ノ際其ノ主腦者ハ同地ノ華僑ニ對シ「自分達ハ東亞ニ於ケル帝國主義ト戰ヒ東亞ニ平和ヲ實ス使命ヲ有スルモノナリ云々」ト豪語シタリト云フ。

ヲ利用シテ反日宣傳ヲナス傾向アルナリ。

(終)

外務省

13. 8

外務省

13. 8

H-0036

0454

急

五部

秘

東亞
第一課

18.9.22

この物ト行ハタ
必キトシテ
ツルアエ
車

要旨
三二

第二課長

昭和二十二年九月十二日

文化事業部

駐米代表官事務課

救護班設置事業
由上ノ故案ニ同ク一市ノ救護

支那ニ於ケル東米人ノ医療救護事業
 今回ノ事業開始以來支那各地ニ散在スル宣教師及ビ宗教団体ハ其ノ具備スル醫療機関ニヨリ相當支那避難民ノ救護ニ從事セリトスルモノ續出スル傾向ヲ見タル處我方ハ迅速果敢ニ占據地域ノ擴大ニ順應シテ救護要地ニ夫々同仁會ノ救護班ヲ派遣シ之等ヲ以テ不取私診療所ヲ開設セシメタル結果該地域ニ於テハ今日迄才三國人カ本件事業ニ果スルカ

外務省

(18. 5)

積極的

三行我々美協同會並出ルモノ

事ヲ阻止シ又ハ我方ト協力シテ医療事業ニ従事スルモノニ至シリ。其ノ状況概テ左記ノ如シ。

(一) 上海ニ在テ南京市一帯カ我軍ノ占據スルトコトタルヤ
 加特カ
 教神父
 シヤキノール
 (佛國人)ハ南京市ニ避難民ヲ收容シ應急ノ救済ヲ為スト共ニ医療救護ヲ行ヒタルカ我方ハ嚴ニ避難民收容地域ヲ整備スルト共ニ同仁會救護班ヲ派遣シテ南京市ノ旧上海市立病院ニ診療所ヲ開設セシメ難民ニ医療救護ノ手ヲノベタル結果佛人シヤキノール一派ノ活動ハ大ニ制約ヲ受ケタリ。南クトカヤシハ過般シヤキノールハ

加特カ

外務省

(18. 5)

18.9.14

H-0036

0455

二百萬弗ヲ入手シテ上海ニ販シリトノ確報
 アルヲ以テ、若シ我方^{医療}救護事業ノ不十分ナルニ至ラバ必ズヤ佛國系^{カトリック}カトリック教團ノ活躍ヲ促スニ至ルヘシ。

(二) 本年三月上旬米國清教徒團體ノ代表者ニシテ嘗テ國際聯盟ノ委員ヲ受ケ大戦後ノ歐洲諸國ノ逃難民^{難民}救護事業ニ當リタリト稱スル者本省文化事業部長ヲ來訪シ支那ニ在ケル医療救護事業ニ着手スル目的ヲ以テ不取敢現地調査ニ必要ナル便宜供與方ヲ要求セル^{米國清教徒}中我才ハ免モ角モ万事ハ現地ニ在ケル我官憲ト協議スルヲ以テトス^{カトリック}ト在下上海日高總領事ニ紹介

(美濃半截野紙) (イ)

(18. 5)

外務省

セル慶同總領事ハ^{作事}接見シテ一應計畫ヲ聽取シタル後出先軍部核團ト協議ノ上彼等ノ我占據地域内ニ在ケル活動^{内務省}断念^{内務省}トオタリ

(三) 蘇州陷落後同地ニ米國系宗教團體ノ經營スル福音醫院ニ收容シテ諸種ノ患者約八十名ヲ我方ノ指導ニ依リ新市政府ヲ以テ同地博習醫院ニ收容セシメタルカ其後當方面ノ治安回復シタルヲ以テ逃匿セル米國系宗教團體所屬ノ醫師ハ復版シテ前通リ医療事業ニ従事セントシテ再三在上海總領事館ニ申入ルル次第アリタルカ同總領事館ハ同館蘇州分館主任ト協

(18. 5)

外務省

外務省に提出(同) 必あり
 うち一行居るにトテ理由トシテ
 (美濃半截野紙) (イ)

議ノ上支那避難民ノ医療救護事業ハ
 我方ノ手ヲ以テ十分行ヒ得ルコトヲ理由トシテ
 彼等ノ復讐ヲ阻止シ在リタリ。因ニ蘇州
 ニ於テハ方面軍ノ軍医官カ公務ノ余暇ニ
 出張シテ医療ニ當リ在リタリ。蘇州ニハ近
 キ將來ニ於テ同仁會ノ診療所ヲ開設ス
 必要アリ。

④ 杭州ニハ佛國系カトリックノ救國體ノ
 経営スル醫院ニニアルトコロ 其ノ中最有力
 ナルハ英國聖公會ノ経営スル 廣濟醫院ニ
 之テ右ハ事業場 同地ニ同仁會醫院開設セ
 ラレタルヲ以テ其ノ救護活動ヲ最少限ニ止メ
 之モ万幸 同地ノ我領事館側ト連絡ヲ遂ケ

(美濃半截野紙) (イ)

(18. 5)

外務省

面倒ナル事端ノ發生ヲ防止シレフツアリ。
 又同地ニ於ケル佛國系カトリックノ救國ノ経営
 スル仁愛醫院ハ同仁會醫院開設後ハ之
 ニ對シ應急ニ必要ナル医薬材料供給方
 ヲ懇請シ来リタル等ノ事アリ 我方医療機關
 ニ信賴スル態容ヲ示スニ至リ其ノ旨 良好ナル
 空氣ヲ醸成セリ。

② 南京ニ於テハ同仁會醫院開設直後ハ陰ニ
 陽ニ支那人ト連絡シ同地ノ鼓樓醫院
 ハ同仁會醫院ノ活動ヲ阻止スル態容ニ出
 タルカ 我方醫院開設後次方ニ成績ヲ擧ゲ毎日多數ノ
 支那人患者ヲ集メスルニ至レルヲ以テ 鼓樓醫
 院ニハ患者集ラズ 醫院経営ハ行ハズ 誌レルニ至

(美濃半截野紙) (イ)

(18. 5)

外務省

華僑

8

東亞ニ在ケル帝國主義ト戦ヒ東亞ニ平和ヲ齎
 ス使命ヲ有スルモノナリ云々ト内地ニ在
 華僑ニ豪語シタリト云フ。
 (七) 檳榔 陷落後發生シタル事端ナルカ内地ニ
 於テハ一米國人醫師アリ我方ノ許可ヲ受ケ
 ルコトナクシテ医療事業ニ従事シ其後再三
 軍側ノ注意ヲ受ケスルモ之ニ聽従セザリシ
 事アリ。宗教団体ノ派遣ニ就テ個人経
 営ノモノタルトフ不向政米人醫師ハ免角
 医療行為ヲ利用シテ反日宣傳ヲナス傾
 向アルナリ。

(終)

外務省

(18. 5)

(美濃半截野紙) (イ)

7

レハ(檳榔) 恐ラク特別ノ事情無キ限リ
 將來ビノ状況ヲ持續スベシト云フ
 (六) 本年九月二日在孟買領事館電報ニ依リ
 ハ印ガ「フングレス」黨ヨリ支那ニ医療救
 護班ヲ派遣スルコトナリ同班ハ五十四箱ノ医
 療品孟買州政府ヨリ寄贈ノコレラ及
 痘瘡注射液三万二千本ヲ掩及外科設
 備(二十名分ノ寝台等)ヲ携帶シテ九月
 一日孟買發香港ニ急行セリ。右一行ハ
 香港ニ到着シ上ハ支那赤十字社ノ五層ヲ
 受ケテ活動ヲ開始スル趣ナリ。
 其後在新嘉坡總領事館ニ電報ニ依リハ右
 救護班(金腦者)ハ同地ニ駐在シ自分達ハ
 新嘉坡ニ到着シ其ノ
 事務外ハ
 省

(18. 5)

(美濃半截野紙) (イ)

秘

昭和十三年九月二十七日

第一課長

米内山領事

官崎記

文化事業部長

第二課長

川口副領事

診療及防疫事業豫備費支出方ノ件

本件ニ就テハ其ノ後土田會計課長ト大蔵省橋本事務官トノ間ニ交渉繼續中ナリシカ過日會計課長入院中橋本事務官ヨリ書面ニテ本件ハ診療防疫兩者ニ對シ豫備費支出ヲ七拾萬圓乃至七拾五萬圓位ニテ辛捧出來サルヤトノ趣旨ヲ申越タル経緯アリ依テ官崎ハ豫テ會計課長ニ對シ兩事業ニ對シ百萬圓支出ヲ得レハ手ヲ打チテ解決シ度キ意嚮ヲ申傳ヘ置キタルヲ以テ九月二十七日會計課長ハ橋本事務官ヲ往訪シテ何トカ百萬圓位支出方斡旋アリ度旨申出タル處同事務官ハ之ヲ了承セリ

同事務官ノ技術的ノ意見トシテ防疫事業ニ對スル豫備費支出ヲ百萬

要綴

外務省

13. 8

圖トシ(節約額^{復流}十八萬圓ヲ加ヘテ^令會計百萬圓トス)豫算ノ防疫費百萬圓(助成費)ヨリ診療ノ方ニ(補助費)振り向ケントスルコトヲ考ヘ居レリトノ話アリタリ右手續ハ全ク大蔵省ノ管掌ノ事項ナルヲ以テ先方ニ任シ適當ナル手續ヲ考ヘシムルコトニ致度
本件ハ橋本事務官ヨリ大蔵省内ノ協議ノ結果ヲ聞ク迄ハ何トモ旨ヘサルモ大體此ノ邊テ結末カ付クモノト思ハル

(終)

外務省

13. 8

H-0036

0459

秘

昭和十三年九月二十八日

第一課長 *西*

本内山領事 *子*

宮崎記

第二課長 *馬*

川口副領事 *川*

川

文化事業部長 *西*

診療及防疫事業ノ爲豫備金支出ノ件

(一) 九月二十八日會計課長ハ大蔵省橋本事務官ヨリ本件ニ就キ最後の
解決案トシテ同事務官ヨリ左記ノ通り内示ヲ受ケタリ

記

(イ) 診療事業費

一五三〇〇〇圓 節約額ノ復活ヲ認ム

補助費

二七〇〇〇〇圓 助成費防疫事業費中ヨリ流用ヲ認ム

合計四二三〇〇〇圓

(ロ) 防疫事業費

外務省

要報

SEP291938

五〇〇〇〇〇圓 豫備金支出
二七〇〇〇〇圓 同上(前記流用ニ依ル不足額補填)
以上

は(イ)

結極大蔵省ハ當方要求ニ對シ九二〇〇〇圓ヲ前記ノ方法ニテ支出
方承認ノ意圖ニシテ此ノ上ハ交渉ノ余地ナキモノト認ムルヲ以テ手
ヲ打ツコトト致度

(二) 昭和十四年度一般會計ニ計上セル支那ニ於ケル厚生施設ノ要求ハ
認メラレサル模様ナリ。但シ對支院設置ノ曉ニハ改メテ豫算ヲ編
成スルヲ要スルニ付其ノ際何トカ工作ノ余地アリ

(三) 前記豫備金支出ハ議會ニ對シテハ在支日本人ノ爲ノ防疫施設ニ要
セル經費トシテ説明ヲナスヘキ由

(四) 右支出ハ外務省一般會計第四款ノ補助費中第二項ニ對支防疫費ヲ
掲ケ其下ニ目トシテ防疫事業費ノ科目ヲ新設スル由 (終)

13. 8

外務省

13. 8

H-0036

0460

昭和拾叁年拾月五日 勅裁濟

昭和三十三年度第二豫備金支出要求書

第一課長 血
柴内山領事
第二課長 原 水

事 歳出臨時部
助 費

在支防疫事業費補助
防疫事業費補助

項	支出要求額	備
在支防疫事業費補助	×××××	
防疫事業費補助	×××××	
計	×××××	

事由

最近支那ニ於ケル悪疫猖獗ノ状態ニ鑑ミ皇軍占據地域ニ於ケル邦人
並内地ニ對スル防疫ノ為在支防疫事業促進ノ必要アリ依テ之ニ要ス
ル経費昭和十三年度第二豫備金ヨリ至急支出ヲ要ス

21

13.10.11

在支防疫事業ニ要スル経費

區分		金額	備考
本部事務費		七、二〇〇	
内國旅費		一、二〇〇	
外國旅費		三、二〇〇	
消耗品費		一、〇〇〇	
圖書及印刷費		六〇〇	
通信運搬費		七五〇	
雜費		四五〇	
防疫事業費		七六二、八〇〇	
俸給		一六二、五五〇	
加俸		一、一六〇	
特別手当		二、三八五〇	
支度料		九、六二〇	
旅費		四八、〇〇〇	
傷病手当		八、一〇〇	
合計		七、七〇〇	
藥劑材料		一〇〇、〇〇〇	
醫療機械費		一、二五、〇〇〇	
備品費		一、二三、〇〇〇	
消耗品費		二〇、〇〇〇	
圖書及印刷費		三〇〇	
通信運搬費		二、五〇〇	
雜費		一、五〇〇	

本部事務費算出内譯

区	分	金額	
事務費		七、二〇〇	
内國旅費		一、二〇〇	採用者召喚、事務打合視察旅費
外國旅費		三、二〇〇	理事及主事各一名 支那出張旅費見積(二回分 一回分一六〇〇円)(理事一〇〇〇円、主事六〇〇円)
消耗品費		一、〇〇〇	月一〇〇円、割ニテ 十ヶ月分
圖書及印刷費		六〇〇	〃 六ヶ月分
通信運搬費		七五〇	〃 七ヶ月分
雜費		四五〇	結会合費 月二五円 十ヶ月分 二五〇円 其、他 〃 二〇〇円 〃 十ヶ月分 二〇〇円

防疫事業費算出内譯

區分		金額	備考
防疫事業費	給	七六二、八〇〇	内訳別紙
俸	俸	一六二、五五〇	
加	俸	一一九、六〇〇	
特別手当	當	二三八、五〇〇	
支度料	料	九六、二〇〇	
旅費	費	四八、〇〇〇	
赴任旅費	費	二一、二〇〇	
出張旅費	費	二六、八〇〇	四一人八一人當二〇、四八二、〇〇〇 二四人八一人、一五、四一八、六〇〇
傷病手当	當	八一、一〇〇	
薬剤材料	料	一〇〇、〇〇〇	見積
醫療機械費	費	二二五、〇〇〇	
備品費	費	一一三、三〇〇	病舎設備 七共二〇〇、四 其ノ他 一三、〇〇〇、四 自動車六台 三六、〇〇〇、四
消耗品費	費	二〇、〇〇〇	月二、〇〇〇、四ノ割ニテ十ヶ月分
區分	金額	備考	
圖書及印刷費	三、〇〇〇	月三、〇〇〇、四ノ割ニテ十ヶ月分	
通信運搬費	二、五〇〇	〃二五、〇〇〃	
雑費	一五、〇〇〇	〃一五、〇〇〇、四〃	

人件費算出内訳

区分	人数	俸給	加俸	特別手当	支度料	赴任旅費
醫師	35人	2,000,000	700,000	400,000	800,000	1,800,000
獸醫	5人	1,800,000	90,000	140,000	400,000	900,000
事務長	1人	1,800,000	1,200,000	1,000,000	800,000	1,800,000
調劑員	8人	1,000,000	640,000	1,000,000	800,000	1,200,000
技術員	10人	1,000,000	800,000	2,000,000	650,000	1,500,000
事務員	8人	800,000	510,000	2,000,000	650,000	900,000
技術助手	30人	700,000	2,100,000	400,000	550,000	3,600,000
産科員	5人	700,000	350,000	1,000,000	550,000	600,000
通譯	3人	700,000	280,000	1,000,000	550,000	600,000
看護婦長	5人	700,000	1,680,000	650,000	550,000	3,600,000
看護婦	30人	600,000	2,600,000	3,000,000	1,200,000	6,000,000
婦人	25人	500,000	1,250,000	3,000,000	400,000	3,600,000
計	125人	12,500,000	12,920,000	23,850,000	9,600,000	21,200,000

H-0036

0465

昭和十三年十月
十三年度節約額復活



H-0036

0466